

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務 I	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	必修	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回 ※8 回目のみ 6 0 分	
授業概要	官公庁等から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官公庁研究を行う	
授業の進め方	官公庁等からお招きした講師による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官公庁研究等を通して、公務員の仕事内容や業務に関する知識を獲得する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（公務員）による講義を基にした演習	
授業計画	1	実務経験者（公務員）における講義
	2	個人研究
	3	レポート作成1
	4	レポート作成2
	5	実務経験者（公務員）における講義
	6	個人研究
	7	レポート作成1
	8	レポート作成2
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的 I 数的推理	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	講義	
授業時間	50 時間	
授業回数	25 回	
授業概要	数学的な基礎知識を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	題意を理解し解答することで、論理的思考力と数的処理力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	方程式（方程式、不定方程式）
	2	方程式（不等式、過不足算）
	3	整数・計算パズル（約数と倍数）
	4	整数・計算パズル（割り算の余り、整数の性質）
	5	整数・計算パズル（数列、n 進法）
	6	整数・計算パズル（その他、整数に関する問題）
	7	科目試験第 1 回
	8	割合と比（割合、比）
	9	割合と比（比）
	10	割合と比（売買算）
	11	割合と比（濃度）
	12	割合と比（濃度）
	13	速さ（速さ）
	14	速さ（旅人算）
	15	速さ（旅人算、通過算）
	16	速さ（流水算、時計算）
	17	科目試験第 2 回
	18	その他文章題（仕事算、給排水算）
	19	その他文章題（仕事算、給排水算、ニュートン算）
	20	その他文章題（年齢算）
	21	その他文章題（平均算）
	22	場合の数（場合の数）
	23	場合の数（順列、重複組合せ、円順列）、確率（事象と確率）
	24	確率（赤玉白玉・くじ引き、サイコロ・コイン、じゃんけん・期待値）
	25	科目試験第 3 回
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅱ 判断推理	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論理（対偶と三段論法）
	2	論理（ド・モルガンの法則、論理と集合）
	3	集合の要素（ベン図）
	4	集合の要素（キャロル表、交わりの最小値）、順序（順序の確定）
	5	順序（順序の変動）
	6	順序（順序の数値条件）
	7	順序（時計のずれ）、方位・位置（位置・座席表）
	8	方位・位置（位置・座席表、円卓・議長席・道をへだてて）
	9	科目試験1回目、方位・位置（円卓・議長席・道をへだてて）
	10	方位・位置（方位・作図）、対応（対応関係）
	11	対応（対応関係、スケジュール表）
	12	対応（スケジュール表、対応の数値条件、やりとり）
	13	勝敗（リーグ戦、トーナメント戦）
	14	うそつき
	15	暗号
	16	推理・手順（他人の判断から判断する1）、資料解釈（実数）
	17	推理・手順（他人の判断から判断する2、カードゲーム）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	18	推理・手順（石取りゲーム、てんびん）、資料解釈（割合、指数、前年比）
	19	推理・手順（手順）、資料解釈（増加率）
	20	資料解釈（いろいろな資料）、科目試験2回目
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数的Ⅲ 空間把握	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	数学的な基礎知識や空間把握能力を基に、問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	図形（平面・立体ともに）から物体の形状を正しく読み解く力を養う	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	回転と軌跡（直線図形の回転と軌跡、円弧を含む図形の回転と軌跡）
	2	道順・一筆書き・位相（道順、一筆書き・位相）、平面構成（折り紙）
	3	平面構成（図形中の図形の数、平面図形の分割、平面図形の合成）
	4	正多面体・展開図（正多面体、展開図）
	5	立体構成（サイコロ）
	6	立体構成（積木の問題、投影図）
	7	科目試験 1回目
	8	立体構成（立体の切断、回転体）
	9	平面図形の計量（角度）
	10	平面図形の計量（平方根の計算、三平方の定理）
	11	平面図形の計量（相似比）
	12	平面図形の計量（面積比）
	13	平面図形の計量（面積比）
	14	科目試験 2回目
	15	平面図形の計量（円）
	16	平面図形の計量（円、扇形と移動図形）
	17	立体図形の計量
	18	立体図形の計量
	19	立体図形の計量
	20	科目試験 3回目
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学 I 政治	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	政治の基本概念（政治と権力、近代国家）、政治過程論（立法過程）
	2	政治の基本概念（国家論）、政治過程論（大衆社会の政治）、政治制度論（権力分立論）
	3	政治制度論（議院内閣制、大統領制、各国の政治制度）
	4	日本国憲法の特徴、基本的人権総論
	5	幸福追求権、平等権、精神的自由権
	6	自由権
	7	社会権、受益権
	8	憲法改正の手続き、国会の機構と運営
	9	国会の機構と運営
	10	内閣の機構と運営
	11	裁判所の機構と運営
	12	裁判所の機構と運営、地方自治
	13	地方自治
	14	政治過程論（政党と政党制、圧力団体）
	15	政治過程論（選挙制度）
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎社会科学Ⅱ 経済・社会	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	金融政策・財政政策・外国為替など、経済の基礎知識、労働問題・環境問題など、社会の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済及び社会の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	経済社会の変容
	2	現代の企業
	3	現代の市場
	4	国民所得
	5	経済成長と景気循環
	6	通貨制度と金融政策
	7	財政制度と財政政策
	8	財政制度と財政政策
	9	日本経済の動向
	10	貿易と外国為替
	11	貿易と外国為替
	12	国際経済の動向
	13	国際経済の動向
	14	経済分野総復習
	15	社会理論
	16	労働問題
	17	社会保障
	18	環境問題
	19	環境問題
	20	国際関係
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学 I 生物	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	生体から自然環境まで、幅広い生物分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	生体における知識を身に着ける。自然環境や生態系への理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生体の構造 1
	2	生体の構造 2
	3	生体内の代謝 1
	4	生体内の代謝 2
	5	生殖と発生
	6	遺伝と変異
	7	刺激の受容と反応
	8	内部環境の恒常性と調節
	9	からだの防衛反応
	10	生物の集団・生物の進化と系統
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅰ 文理・国語	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	文法などの国語分野の基礎的な知識と文章読解力の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会人として求められる基礎的な読解力と国語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	要旨把握1、文法1、四字熟語1、ことわざ1、文学史1
	2	要旨把握2、文法2、四字熟語2、ことわざ2、文学史2
	3	内容合致1、文法3、四字熟語3、ことわざ3、文学史3
	4	内容合致2、文法4、四字熟語4、ことわざ4、文学史4
	5	文章整序1、文法5、四字熟語5、ことわざ5、文学史5
	6	空欄補充2、文法6、四字熟語6、ことわざ6、文学史6
	7	空欄補充1、文法7、四字熟語7、ことわざ7、文学史7
	8	空欄補充2、文法8、四字熟語8、ことわざ8、文学史8
	9	文章理解・国語演習
	10	文章理解・国語演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合教養演習Ⅰ 基礎教養	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・政治・文章理解の知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	一般教養力検定2級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験	
特記		
授業計画	1	出題科目の分野別学習 1
	2	出題科目の分野別学習 2
	3	出題科目の分野別学習 3
	4	出題科目の分野別学習 4
	5	出題科目の分野別学習 5
	6	出題科目の分野別学習 6
	7	出題科目の分野別学習 7
	8	出題科目の分野別学習 8
	9	出題科目の分野別学習 9
	10	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 1
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 2
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 3
	17	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 4
	20	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 5
	23	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 6
	26	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	一般教養力検定2級タイプの模擬試験 7
	29	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合教養演習Ⅱ 実践教養	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、数的推理・判断推理・空間把握・文章理解・政治・経済・社会の知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	一般教養力検定1級に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	分野別学習オリジナルプリント、模擬試験	
特記		
授業計画	1	出題科目の分野別学習 1
	2	出題科目の分野別学習 2
	3	出題科目の分野別学習 3
	4	出題科目の分野別学習 4
	5	出題科目の分野別学習 5
	6	出題科目の分野別学習 6
	7	出題科目の分野別学習 7
	8	出題科目の分野別学習 8
	9	出題科目の分野別学習 9
	10	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 1
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 2
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 3
	17	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 4
	20	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 5
	23	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 6
	26	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	一般教養力検定1級タイプの模擬試験 7
	29	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修AB	
授業方法	演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	一般教養として、社会で求められる漢字の知識を身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 2 級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名 1
	2	訓読み・送り仮名 2
	3	熟語 1
	4	熟語 2
	5	熟語 3
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正 1
	8	誤字訂正 2、類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方 1
	11	漢字の意味・使い方 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事対策	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修A	
授業方法	講義	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	自然科学から国際問題まで幅広いジャンルの社会時事を学ぶ	
授業の進め方	1 項目 1 5 分程度で、重要ワードを軸にその内容を解説し、問題演習を行う	
達成目標	現代社会の幅広い知識を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事（政治分野 1）
	2	時事（政治分野 2）
	3	時事（政治分野 3）
	4	時事（経済分野 1）
	5	時事（経済分野 2）
	6	時事（文化 1）
	7	時事（文化 2）
	8	時事（文化 3）
	9	時事（科学 1）
	10	時事（科学 2）
	11	時事（科学 3）
	12	時事（科学 4）
	13	時事（科学 5）
	14	時事（国際問題 1）
	15	時事（国際問題 2）
成績評価方法 (試験実施方法)	講義後のチェックテストの得点を中心に取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題演習による試験対策	
達成目標	一般社会生活で使用される頻度の高い常用漢字の読み書きができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名①
	2	訓読み・送り仮名②
	3	熟語①
	4	熟語②
	5	熟語③
	6	異字同訓・同音異義
	7	誤字訂正①
	8	誤字訂正②・類義語
	9	反対語
	10	漢字の意味・使い方①
	11	漢字の意味・使い方②
	12	項目別模擬試験①
	13	項目別模擬試験②
	14	直前模擬試験①
	15	直前模擬試験②
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択必修B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の問題を電卓にて計算する	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	小数点以下の取り扱い諸注意
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	憲法理論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	憲法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	憲法総論（憲法の意味・日本憲法史）
	2	国民主権・平和主義
	3	基本的人権（1）自由権
	4	基本的人権（2）社会権・参政権
	5	基本的人権（3）新しい人権・法の下での平等
	6	統治機構（1）権力分立・国会
	7	統治機構（2）内閣・裁判所
	8	財政・地方自治・憲法改正
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	民法総則	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	民法総則の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	通則
	2	人
	3	法人
	4	物
	5	法律行為(1)
	6	法律行為(2)
	7	代理
	8	時効
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	憲法理論演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修C	
授業方法	演習	
授業時間	38時間	
授業回数	19回	
授業概要	憲法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	憲法の問題演習につき、6割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習(1)
	2	問題演習(1) 解説
	3	問題演習(2)
	4	問題演習(2) 解説
	5	問題演習(3)
	6	問題演習(3) 解説
	7	問題演習(4)
	8	問題演習(4) 解説
	9	問題演習(5)
	10	問題演習(5) 解説
	11	問題演習(6)
	12	問題演習(6) 解説
	13	問題演習(7)
	14	問題演習(7) 解説
	15	問題演習(8)
	16	問題演習(8) 解説
	17	問題演習(9)
	18	問題演習(9) 解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容	
授業科目	民法総則演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択必修C	
授業方法	演習	
授業時間	38時間	
授業回数	19回	
授業概要	民法総則の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	民法総則の問題演習につき、6割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習(1)
	2	問題演習(1) 解説
	3	問題演習(2)
	4	問題演習(2) 解説
	5	問題演習(3)
	6	問題演習(3) 解説
	7	問題演習(4)
	8	問題演習(4) 解説
	9	問題演習(5)
	10	問題演習(5) 解説
	11	問題演習(6)
	12	問題演習(6) 解説
	13	問題演習(7)
	14	問題演習(7) 解説
	15	問題演習(8)
	16	問題演習(8) 解説
	17	問題演習(9)
	18	問題演習(9) 解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習 I			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2 年制			
履修年次	1 年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修C			
授業方法	演習			
授業時間	1 7 0 時間			
授業回数	8 5 回			
授業概要	1 年次実施科目の知識をアウトプットし基礎知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	1 年次実施科目の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1・2	答案演習 (1) 問題・解説	61・62	答案演習 (3 1) 問題・解説
	3・4	答案演習 (2) 問題・解説	63・64	答案演習 (3 2) 問題・解説
	5・6	答案演習 (3) 問題・解説	65・66	答案演習 (3 3) 問題・解説
	7・8	答案演習 (4) 問題・解説	67・68	答案演習 (3 4) 問題・解説
	9・10	答案演習 (5) 問題・解説	69・70	答案演習 (3 5) 問題・解説
	11・12	答案演習 (6) 問題・解説	71・72	答案演習 (3 6) 問題・解説
	13・14	答案演習 (7) 問題・解説	73・74	答案演習 (3 7) 問題・解説
	15・16	答案演習 (8) 問題・解説	75・76	答案演習 (3 8) 問題・解説
	17・18	答案演習 (9) 問題・解説	77・78	答案演習 (3 9) 問題・解説
	19・20	答案演習 (1 0) 問題・解説	79・80	答案演習 (4 0) 問題・解説
	21・22	答案演習 (1 1) 問題・解説	81・82	答案演習 (4 1) 問題・解説
	23・24	答案演習 (1 2) 問題・解説	83・84	答案演習 (4 2) 問題・解説
	25・26	答案演習 (1 3) 問題・解説	85	まとめ
	27・28	答案演習 (1 4) 問題・解説		
	29・30	答案演習 (1 5) 問題・解説		
	31・32	答案演習 (1 6) 問題・解説		
	33・34	答案演習 (1 7) 問題・解説		
	35・36	答案演習 (1 8) 問題・解説		
	37・38	答案演習 (1 9) 問題・解説		
	39・40	答案演習 (2 0) 問題・解説		
	41・42	答案演習 (2 1) 問題・解説		
	43・44	答案演習 (2 2) 問題・解説		
	45・46	答案演習 (2 3) 問題・解説		
	47・48	答案演習 (2 4) 問題・解説		
	49・50	答案演習 (2 5) 問題・解説		
	51・52	答案演習 (2 6) 問題・解説		
	53・54	答案演習 (2 7) 問題・解説		
	55・56	答案演習 (2 8) 問題・解説		
	57・58	答案演習 (2 9) 問題・解説		
	59・60	答案演習 (3 0) 問題・解説		
	成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修C			
授業方法	演習			
授業時間	170時間			
授業回数	85回			
授業概要	1年次実施科目の知識をアウトプットし応用知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	1年次実施科目の問題演習につき、6割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1・2	答案演習(1) 問題・解説	61・62	答案演習(31) 問題・解説
	3・4	答案演習(2) 問題・解説	63・64	答案演習(32) 問題・解説
	5・6	答案演習(3) 問題・解説	65・66	答案演習(33) 問題・解説
	7・8	答案演習(4) 問題・解説	67・68	答案演習(34) 問題・解説
	9・10	答案演習(5) 問題・解説	69・70	答案演習(35) 問題・解説
	11・12	答案演習(6) 問題・解説	71・72	答案演習(36) 問題・解説
	13・14	答案演習(7) 問題・解説	73・74	答案演習(37) 問題・解説
	15・16	答案演習(8) 問題・解説	75・76	答案演習(38) 問題・解説
	17・18	答案演習(9) 問題・解説	77・78	答案演習(39) 問題・解説
	19・20	答案演習(10) 問題・解説	79・80	答案演習(40) 問題・解説
	21・22	答案演習(11) 問題・解説	81・82	答案演習(41) 問題・解説
	23・24	答案演習(12) 問題・解説	83・84	答案演習(42) 問題・解説
	25・26	答案演習(13) 問題・解説	85	まとめ
	27・28	答案演習(14) 問題・解説		
	29・30	答案演習(15) 問題・解説		
	31・32	答案演習(16) 問題・解説		
	33・34	答案演習(17) 問題・解説		
	35・36	答案演習(18) 問題・解説		
	37・38	答案演習(19) 問題・解説		
	39・40	答案演習(20) 問題・解説		
	41・42	答案演習(21) 問題・解説		
	43・44	答案演習(22) 問題・解説		
	45・46	答案演習(23) 問題・解説		
	47・48	答案演習(24) 問題・解説		
	49・50	答案演習(25) 問題・解説		
	51・52	答案演習(26) 問題・解説		
	53・54	答案演習(27) 問題・解説		
	55・56	答案演習(28) 問題・解説		
	57・58	答案演習(29) 問題・解説		
	59・60	答案演習(30) 問題・解説		
	成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習Ⅲ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修C			
授業方法	演習			
授業時間	130時間			
授業回数	65回			
授業概要	2年次実施科目の知識をアウトプットし基礎知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	2年次実施科目の問題演習につき、6割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1・2	答案演習(1) 問題・解説	61・62	答案演習(31) 問題・解説
	3・4	答案演習(2) 問題・解説	63・64	答案演習(32) 問題・解説
	5・6	答案演習(3) 問題・解説	65	まとめ
	7・8	答案演習(4) 問題・解説		
	9・10	答案演習(5) 問題・解説		
	11・12	答案演習(6) 問題・解説		
	13・14	答案演習(7) 問題・解説		
	15・16	答案演習(8) 問題・解説		
	17・18	答案演習(9) 問題・解説		
	19・20	答案演習(10) 問題・解説		
	21・22	答案演習(11) 問題・解説		
	23・24	答案演習(12) 問題・解説		
	25・26	答案演習(13) 問題・解説		
	27・28	答案演習(14) 問題・解説		
	29・30	答案演習(15) 問題・解説		
	31・32	答案演習(16) 問題・解説		
	33・34	答案演習(17) 問題・解説		
	35・36	答案演習(18) 問題・解説		
	37・38	答案演習(19) 問題・解説		
	39・40	答案演習(20) 問題・解説		
	41・42	答案演習(21) 問題・解説		
	43・44	答案演習(22) 問題・解説		
	45・46	答案演習(23) 問題・解説		
	47・48	答案演習(24) 問題・解説		
	49・50	答案演習(25) 問題・解説		
	51・52	答案演習(26) 問題・解説		
	53・54	答案演習(27) 問題・解説		
	55・56	答案演習(28) 問題・解説		
	57・58	答案演習(29) 問題・解説		
	59・60	答案演習(30) 問題・解説		
	成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価		
備考				

授業概要(シラバス)

タイトル	内容			
授業科目	法律答案演習Ⅳ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択必修C			
授業方法	演習			
授業時間	110時間			
授業回数	55回			
授業概要	2年次実施科目の知識をアウトプットし応用知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	2年次実施科目の問題演習につき、6割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	答案演習(1)	31	答案演習(16)
	2	答案演習(1)解説	32	答案演習(16)解説
	3	答案演習(2)	33	答案演習(17)
	4	答案演習(2)解説	34	答案演習(17)解説
	5	答案演習(3)	35	答案演習(18)
	6	答案演習(3)解説	36	答案演習(18)解説
	7	答案演習(4)	37	答案演習(19)
	8	答案演習(4)解説	38	答案演習(19)解説
	9	答案演習(5)	39	答案演習(20)
	10	答案演習(5)解説	40	答案演習(20)解説
	11	答案演習(6)	41	答案演習(21)
	12	答案演習(6)解説	42	答案演習(21)解説
	13	答案演習(7)	43	答案演習(22)
	14	答案演習(7)解説	44	答案演習(22)解説
	15	答案演習(8)	45	答案演習(23)
	16	答案演習(8)解説	46	答案演習(23)解説
	17	答案演習(9)	47	答案演習(24)
	18	答案演習(9)解説	48	答案演習(24)解説
	19	答案演習(10)	49	答案演習(25)
	20	答案演習(10)解説	50	答案演習(25)解説
	21	答案演習(11)	51	答案演習(26)
	22	答案演習(11)解説	52	答案演習(26)解説
	23	答案演習(12)	53	答案演習(27)
	24	答案演習(12)解説	54	答案演習(27)解説
	25	答案演習(13)	55	まとめ
	26	答案演習(13)解説		
	27	答案演習(14)		
	28	答案演習(14)解説		
	29	答案演習(15)		
	30	答案演習(15)解説		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択ABC	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	面接試験で求められるビジネスマナーや立ち居振舞いを学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	面接時の入退室及び自己 P R が出来るようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	面接の基本 1
	2	面接の基本 2
	3	言葉遣いと身嗜み
	4	立ち居振舞いとお辞儀
	5	入退室の仕方
	6	入退室練習
	7	入退室練習
	8	入退室練習
	9	入退室練習
	10	入退室練習
	11	入退室効果測定練習
	12	入退室効果測定練習
	13	入退室効果測定練習
	14	入退室効果測定
	15	入退室効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定の成績を中心的に総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択ABC	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	面接試験に向けての自己分析・自己PR作成を行う	
授業の進め方	自己分析および自己PR作成をおこない、効果測定をおこなう	
達成目標	自己PRが出来るようになり、自分らしさを表現できる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	自己分析 1
	2	自己分析 2
	3	自己分析 3
	4	自己分析 4
	5	自己分析 5
	6	作文『今まで一番頑張ったこと』
	7	自己PR作成 1
	8	自己PR作成 2
	9	自己PR作成 3
	10	自己PR作成 4
	11	自己PR作成 5
	12	自己PRグループ発表準備
	13	自己PRグループ発表
	14	自己分析効果測定
	15	自己分析効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択ABC	
授業方法	実習	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	社会で求められる一般的なビジネスマナーと電話応対を学ぶ	
授業の進め方	座学を基に実技練習を行い、効果測定を行う	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルを超えたスキルを身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ビジネスマナー学習のオリエンテーション
	2	職場のマナー
	3	敬語と挨拶
	4	敬語と挨拶
	5	接遇マナー
	6	接客マナー
	7	営業マナー
	8	商品説明
	9	商品説明
	10	商品説明（プレゼンテーション）
	11	商品説明（プレゼンテーション）
	12	クレーム対応
	13	社会人マナー
	14	電話応対基礎編
	15	電話応対基礎編
	16	電話応対基礎編
	17	電話応対基礎編
	18	電話応対応用編（伝言）
	19	電話応対応用編（伝言）
	20	電話応対応用編（伝言）
	21	電話応対応用編（伝言）
	22	第 1 回効果測定
	23	第 1 回効果測定の検証と第 2 回効果測定の準備
	24	第 2 回効果測定
	25	第 2 回効果測定の検証と第 3 回効果測定の準備
	26	第 3 回効果測定
	27	冠婚葬祭のマナー
	28	郵便のマナー
	29	電話での道案内
	30	クレーム対応
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択ABC	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	社会で求められる一般的なレベルのWORDとEXCEL等の操作方法を学ぶ	
授業の進め方	基本的なレクチャーを受けながら実際に端末を操作する	
達成目標	社会人として求められる一般的なレベルのPCスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	WORDの基本操作 1
	2	WORDの基本操作 2
	3	WORDの基本操作 3
	4	WORDの基本操作 4
	5	WORDの基本操作 5
	6	WORD効果測定
	7	EXCEL基本操作 1
	8	EXCEL基本操作 2
	9	EXCEL基本操作 3
	10	EXCEL基本操作 4
	11	EXCEL基本操作 5
	12	EXCEL効果測定
	13	POWERPOINTの基本操作 1
	14	POWERPOINTの基本操作 2
	15	POWERPOINTの基本操作 3
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	トレーニング実習	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択ABC	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	実務経験者の講師をお招きし、その講義から得た知識・技能で実習を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、その後筋力トレーニング・ストレッチ運動・球技などの実習を行う。	
達成目標	トレーニングを通して、公安職に最低限必要な体力を養う	
教科書	なし	
特記	実務経験者による消防及び公安職に求められる体力錬成	
授業計画	1	公安職 職種研究
	2	公安職 体力試験と身体検査
	3	実務経験者によるトレーニング講座
	4	筋力トレーニング
	5	筋力トレーニング
	6	筋力トレーニング
	7	筋力トレーニング
	8	筋力トレーニング
	9	筋力トレーニング
	10	筋力トレーニング
	11	筋力トレーニング
	12	筋力トレーニング
	13	筋力トレーニング
	14	筋力トレーニング
	15	筋力トレーニング
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況によって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅱ 社会科学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択AB	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	政治・経済の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公務に必要な社会科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	政治の基本理念、政治制度論
	2	基本的人権①
	3	基本的人権②
	4	基本的人権③
	5	国会の機構と運営
	6	内閣の機構と運営
	7	裁判所の機構と運営
	8	地方自治、選挙制度
	9	現代の企業、現代の市場
	10	国民所得
	11	通貨制度と金融政策
	12	通貨制度と金融政策
	13	財政制度と財政政策
	14	貿易と外国為替
	15	国際経済の動向
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容		
授業科目	基礎演習Ⅴ 知能系科目総合		
実務家教員			
学部・学科	法律行政学科 2年制		
履修年次	1年次		
開講区分	通年		
科目区分	共通選択AB		
授業方法	演習		
授業時間	60時間		
授業回数	30回		
授業概要	問題演習を通じて数的推理・判断推理の総復習を行う		
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う		
達成目標	数的推理・判断推理分野の基礎知識を定着させる		
教科書	配布プリント・資料		
特記			
授業計画	1	数的推理の基礎知識の復習（方程式）	
	2	数的推理の基礎知識の復習（不等式）	
	3	数的推理の基礎知識の復習（整数）	
	4	数的推理の基礎知識の復習（整数）	
	5	数的推理の基礎知識の復習（計算パズル）	
	6	数的推理の基礎知識の復習（比）	
	7	数的推理の基礎知識の復習（比）	
	8	数的推理の基礎知識の復習（速さ）	
	9	数的推理の基礎知識の復習（速さ）	
	10	数的推理の基礎知識の復習（仕事算）	
	11	数的推理の基礎知識の復習（場合の数）	
	12	数的推理の基礎知識の復習（場合の数）	
	13	数的推理の基礎知識の復習（確率）	
	14	数的推理の基礎知識の復習（確率）	
	15	判断推理の基礎知識の復習（論理）	
	16	判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数）	
	17	判断推理の基礎知識の復習（集合と要素の個数）	
	18	判断推理の基礎知識の復習（順序）	
	19	判断推理の基礎知識の復習（順序）	
	20	判断推理の基礎知識の復習（対応）	
	21	判断推理の基礎知識の復習（対応）	
	22	判断推理の基礎知識の復習（位置と方位）	
	23	判断推理の基礎知識の復習（位置と方位）	
	24	判断推理の基礎知識の復習（勝ち負け）	
	25	判断推理の基礎知識の復習（カード・ゲーム）	
	26	判断推理の基礎知識の復習（推理・手順）	
	27	判断推理の基礎知識の復習（暗号）	
	28	判断推理の基礎知識の復習（家系図）	
	29	数的推理 総まとめ試験	
	30	判断推理 総まとめ試験	
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価		
備考			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択AC	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回 ※8 回目のみ 6 0 分	
授業概要	警察または消防に関する講義（または演習・実習）を行い、その講義（演習・実習）から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	講義（演習・実習）後、各自研究課題を作成し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（警察職または消防職）による講義を基にした演習	
授業計画	1	警察職・消防職における講義 1（または演習・実習）
	2	レポート作成 1
	3	レポート作成 2
	4	レポート作成 3
	5	警察職・消防職における講義 2（または演習・実習）
	6	レポート作成 1
	7	レポート作成 2
	8	レポート作成 3
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択AC	
授業方法	実習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅲ	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択AC	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回 ※8 回目のみ 6 0 分	
授業概要	大阪国税局から講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官庁企業研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（大阪国税局）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（大阪国税局）による講義を基にした演習	
授業計画	1	税の仕組み
	2	省庁の仕事内容
	3	官公庁講義 1
	4	官公庁講義 2
	5	官公庁講義 3
	6	研究レポートの作成
	7	研究レポートの作成
	8	レポートの検証
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅳ	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択AC	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回 ※8 回目のみ 6 0 分	
授業概要	実務経験の豊富な講師をお招きし、その講義から得た知識を基に消防官職種研究を行う	
授業の進め方	実務経験者（消防官）による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官庁企業研究を通して、公務員の仕事内容を理解する	
教科書	なし	
特記	元横浜消防教官鎌田氏による消防及び公安職に関する研究	
授業計画	1	消防官の仕事内容
	2	実務者講義 1（消防官に求められる資質）
	3	研究レポート（消防官に求められる資質）
	4	実務者講義 2（自助・共助・公助）
	5	研究レポート（自助・共助・公助）
	6	実務者講義 3（消防と我が人生）
	7	研究レポート（消防と我が人生）
	8	レポートの検証（60分）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	職業実務Ⅴ	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択AC	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回 ※8 回目のみ 6 0 分	
授業概要	実務経験のある講師をお招きし、その講義から得た知識を基に官公庁・法律研究を行う	
授業の進め方	実務経験者による講義を受け、各自研究課題を作成する	
達成目標	官公庁等研究を通して、公務員の仕事内容や業務に関する法律基礎知識を理解する	
教科書	なし	
特記	実務経験者（国家事務職または法律実務家）による講義を基にした演習	
授業計画	1	実務経験者（国家事務職または法律実務家）における講義
	2	個人研究
	3	レポート作成 1
	4	レポート作成 2
	5	実務経験者（国家事務職または法律実務家）における講義
	6	個人研究
	7	レポート作成 1
	8	レポート作成 2
成績評価方法 (試験実施方法)	研究レポートの完成度によって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公共ボランティア実習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	共通選択AC	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	ボランティアの基本的な在り方を学び、実習も踏まえて理解を深める	
授業の進め方	座学を基に実際にボランティアを体験する	
達成目標	知識と実体験により、ボランティアの実情など基礎的な知識を身に付ける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ボランティアの基礎知識
	2	自治体とボランティア
	3	ボランティア実体験①
	4	ボランティア実体験②
	5	ボランティア実体験③
	6	ボランティア実体験④
	7	ボランティア実体験⑤
	8	ボランティア実体験⑥
	9	ボランティア実体験⑦
	10	ボランティア実体験⑧
	11	ボランティア実体験⑨
	12	ボランティア実体験⑩
	13	ボランティア実体験⑪
	14	ボランティア実体験⑫
	15	ボランティアレポート
成績評価方法 (試験実施方法)	授業・実習への参加姿勢、授業内レポートの完成度などで評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律研究	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択AC	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	法律に関する講義を受け、研究および発表を通じて法律の考え方を学ぶ	
授業の進め方	講義で与えられた課題について研究し、研究レポートを作成する	
達成目標	法律の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	トゥモロー法律事務所松本知朗弁護士による弁護士としての実践的知識を基にした講義と実習	
授業計画	1	法律概論
	2	民法①（講義）
	3	民法課題研究
	4	民法②（講義）
	5	民法課題研究
	6	憲法①（講義）
	7	憲法②（講義）
	8	憲法課題研究
	9	行政法①（講義）
	10	行政法②（講義）
	11	行政法課題研究
	12	刑法①（講義）
	13	刑法課題研究
	14	刑法②（講義）
	15	刑法課題研究
成績評価方法 (試験実施方法)	研究成果をまとめたレポートの内容で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政研究	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	共通選択AC	
授業方法	実習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	災害対策に関する講義を受け、研究・発表を通じて防災への理解を深める	
授業の進め方	講義で与えられた課題をグループで研究し、プレゼンテーションを行う	
達成目標	災害の基礎知識を身に付けるだけでなく、組織での仕事の疑似体験をする	
教科書	なし	
特記	防衛省自衛隊による防災に関する実務経験を基にした講義と実習	
授業計画	1	災害対策の枠組み（講義）
	2	災害対策の実例（講義）
	3	課題研究 1
	4	課題研究 2
	5	課題研究 3
	6	課題研究 4
	7	課題研究 5
	8	課題研究 6
	9	研究発表シナリオ作成 1
	10	研究発表シナリオ作成 2
	11	研究発表準備 1
	12	研究発表準備 2
	13	研究発表プレゼンテーション
	14	研究発表プレゼンテーション
	15	プレゼンテーションのフィードバック講義
成績評価方法 (試験実施方法)	プレゼンテーションの評価を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学 I 地理	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	気候、地形、世界各国の産業など地理の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な地理の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	世界の地形（山地と平野）
	2	世界の地形（様々な地形）
	3	世界の気候（熱帯、乾燥帯、冷帯、寒帯）
	4	世界の気候（温帯）
	5	地理演習
	6	世界の農業（アジア、ヨーロッパ）
	7	世界の農業（アメリカ、オセアニア）
	8	世界の資源
	9	世界の工業
	10	地理演習
	11	世界地誌（アジア、アフリカ）
	12	世界地誌（ヨーロッパ、アメリカ、オセアニア）
	13	生活と地域
	14	日本地誌
	15	地理演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅱ 日本史	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	大和政権から昭和までの日本史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な日本史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	大和政権と大化の改新
	2	平安時代
	3	平安時代の文化
	4	鎌倉時代
	5	室町時代
	6	鎌倉時代と室町時代の文化
	7	封建社会の確立
	8	江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革）
	9	江戸時代（幕末）
	10	明治維新
	11	立憲体制の確立
	12	近代文化の発展
	13	大正時代
	14	昭和時代
	15	日本史演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学Ⅲ 世界史	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	中国の歴代王朝と、ヨーロッパ世界を中心とした世界の歴史を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な近隣国および近代歴史の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	四大文明、オリエント世界の動向、殷、周、秦、漢
	2	魏晋南北朝、隋、唐
	3	宋、元
	4	明、清
	5	清の崩壊
	6	ヴェルサイユ体制
	7	第二次世界大戦
	8	第二次世界大戦後の世界
	9	中世ヨーロッパ、ルネサンス、大航海時代、宗教改革
	10	絶対主義
	11	イギリス市民革命、アメリカ独立革命
	12	フランス革命
	13	ウィーン体制
	14	19世紀のヨーロッパ
	15	第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅱ 地学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	地球の内部構造から宇宙まで、幅広い地学分野を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	地球を中心とした、自然環境を理解し知識を広げる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	地球の姿と動く大地
	2	地震
	3	岩石
	4	大気と海洋
	5	気象現象、日本の四季
	6	太陽系と宇宙の構造
	7	太陽系と惑星
	8	恒星の世界
	9	地学演習
	10	地学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学Ⅲ 物理	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	電気や力学など物理分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	運動の表現
	2	力1
	3	力2、運動方程式
	4	エネルギー
	5	運動量、熱
	6	波動
	7	電気
	8	電気と磁力、原子
	9	物理演習
	10	物理演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学IV 化学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	原子や化学反応など化学分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	化学反応現象を、反応式で捉えられるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	物質の構造 1
	2	物質の構造 2
	3	物質の状態
	4	物質の変化 1
	5	物質の変化 2
	6	物質の変化 3、有機化合物
	7	無機化合物 1
	8	無機化合物 2
	9	化学演習
	10	化学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習 I 数的処理	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	数的処理の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト・スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	論理、集合の要素
	2	順序
	3	対応
	4	位置と方位
	5	勝ち負け、カード・ゲーム
	6	ウソの発言、推理・手順
	7	折り紙、回転の軌跡
	8	正多面体・展開図
	9	平面図形の構成、サイコロ
	10	見取図と投影図・積木
	11	立体の切断・回転体、一筆書き
	12	平面図形の計量①
	13	平面図形の計量②
	14	立体図形の計量
	15	方程式・不等式
	16	整数・計算、パズル
	17	割合と比
	18	速さ
	19	仕事算
	20	場合の数、確率
成績評価方法 (試験実施方法)	応用的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅲ 人文科学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	地理・歴史の基礎知識をアウトプットすることで定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な人文科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	平安時代・鎌倉時代・室町時代
	2	江戸時代
	3	明治時代・大正時代
	4	現代
	5	通史
	6	世界の地形・世界の気候
	7	世界の農業
	8	世界の工業・資源
	9	日本地誌
	10	世界地誌
	11	東洋史（前半）
	12	東洋史（後半）
	13	第二次世界大戦と戦後世界
	14	中世ヨーロッパから近世ヨーロッパ
	15	近代ヨーロッパと第一次世界大戦
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習Ⅳ 自然科学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	生物・地学の基礎知識をアウトプットすることで知識の定着を図る	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	一般教養として必要な自然科学分野の基礎知識を定着させる	
教科書	オリジナルテキスト、スタンダード問題集	
特記		
授業計画	1	生体の構造、生体内の代謝
	2	生体内の代謝
	3	生体内の代謝、生殖と発生、遺伝と変異
	4	遺伝と変異、刺激の受容と反応
	5	刺激の受容と反応、内部環境の恒常性と調整
	6	内部環境の恒常性と調整、生物の集団、生物の進化と系統
	7	地球の姿と動く大地
	8	岩石、大気と海洋
	9	大気と海洋、太陽系と宇宙の構造
	10	太陽系と宇宙の構造、地球と人類
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎演習VI 知識系科目総合	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	問題演習を通じて知識系科目全体の総復習を行う	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	公務に必要な一般教養の幅広い知識を定着させる	
教科書	スタンダード問題集・配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	社会の知識の総復習(社会理論・労働問題)
	2	社会の知識の総復習(社会保障・労働問題)
	3	社会の知識の総復習(国際関係)
	4	政治 第1回まとめ試験
	5	政治の基礎知識の復習(国家)
	6	政治の基礎知識の復習(政治制度)
	7	政治 第2回まとめ試験
	8	政治の基礎知識の復習(基本的人権)
	9	政治の基礎知識の復習(基本的人権)
	10	政治 第3回まとめ試験
	11	政治の基礎知識の復習(統治機構)
	12	政治の基礎知識の復習(統治機構)
	13	政治の基礎知識の復習(地方自治)
	14	政治 第4回まとめ試験
	15	政治の基礎知識の復習(選挙制度)
	16	政治の基礎知識の復習(選挙制度)
	17	経済 第1回まとめ試験
	18	経済の基礎知識の復習(現代の企業)
	19	経済の基礎知識の復習(市場)
	20	経済の基礎知識の復習(国民所得)
	21	経済 第2回まとめ試験
	22	経済の基礎知識の復習(金融政策)
	23	経済の基礎知識の復習(財政政策)
	24	経済の基礎知識の復習(日本経済の動向)
	25	経済 第3回まとめ試験
	26	経済の基礎知識の復習(貿易と外国為替)
	27	経済の基礎知識の復習(国際経済の動向)
	28	経済の基礎知識の復習(国際経済の動向)
	29	政治 総まとめ試験
	30	経済 総まとめ試験
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験の得点、授業への取り組み姿勢を総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎答案練習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	本試験形式の 1 次試験から 2 次試験までを体験する	
授業の進め方	教養模擬試験および作文・適性・面接試験を実施する	
達成目標	第6講目の模擬試験で合格ラインに達する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験 1
	2	基礎的なレベルの模擬試験 1 の復習
	3	基礎的なレベルの模擬試験 2
	4	基礎的なレベルの模擬試験 2 の復習
	5	模擬受験（教養試験）
	6	模擬受験（作文/ES・適性試験）
	7	基礎的なレベルの模擬試験 3
	8	基礎的なレベルの模擬試験 3 の復習
	9	基礎的なレベルの模擬試験 4
	10	基礎的なレベルの模擬試験 4 の復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験・模擬受験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	憲法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	基本的人権や統治機構など憲法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な憲法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	憲法総論
	2	基本的人権総論
	3	基本的人権総論
	4	包括的基本権
	5	法の下での平等
	6	思想及び良心の自由、学問の自由
	7	信教の自由
	8	表現の自由
	9	表現の自由
	10	表現の自由
	11	職業選択の自由
	12	財産権
	13	人身の自由
	14	社会権、参政権、受益権
	15	国会
	16	国会
	17	内閣
	18	裁判所
	19	裁判所
	20	財政、地方自治、憲法改正、天皇、平和主義
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	民法			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択A			
授業方法	講義			
授業時間	70時間			
授業回数	35回			
授業概要	総則や物権、債権など民法の基礎知識を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習			
達成目標	公務に必要な民法の基礎知識を習得する			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	権利能力、意思能力と行為能力	31	弁済の提供、受領遅滞、解除の効果など
	2	無効・取消し	32	贈与、請負、委任など
	3	意思の不存在、瑕疵ある意思表示	33	民法演習 1
	4	代理権	34	民法演習 2
	5	代理行為、無権代理	35	民法演習 3
	6	無権代理と相続、表見代理		
	7	時効総説、時効の完成猶予・更新		
	8	取得時効、消滅時効、物権の効力		
	9	物権変動の一般理論、177条（対抗要件主義）		
	10	物権変動と登記の要否		
	11	即時取得制度、占有の効力		
	12	共有、地役権		
	13	担保物権総論、留置権		
	14	抵当権		
	15	復代理、質権		
	16	法定地上権、譲渡担保		
	17	債務不履行、債務不履行に基づく損害賠償		
	18	債権者代位権		
	19	詐害行為取消権（債権者取消権）		
	20	連帯債務、保証債務		
	21	債権譲渡		
	22	弁済、相殺		
	23	契約の効力（双務契約の特則）、契約の解除		
	24	売買（1）		
	25	売買（2）		
	26	賃貸借		
	27	不当利得		
	28	不法行為		
	29	婚姻、親子関係		
	30	相続、遺留分		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	行政法の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な行政法の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	行政法の一般的な法理論
	2	行政上の法律関係、行政行為の意義・分類
	3	行政行為の効力・瑕疵・裁量
	4	行政行為の成立・消滅、行政行為の附款、行政強制
	5	行政罰、行政調査
	6	行政契約、行政計画
	7	行政立法
	8	行政手続法総則
	9	申請に対する処分、不利益処分
	10	行政指導、処分等の求め
	11	意見公募手続等、手続の瑕疵
	12	行政機関情報公開法
	13	行政救済法一般・行政不服審査法
	14	行政不服審査法・行政事件訴訟法総則行政事件訴訟法総則
	15	取消訴訟（訴訟要件）
	16	取消訴訟（審理等）
	17	国家補償
	18	行政組織法
	19	公物法・地方自治法
	20	地方自治法
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	政治学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	政治学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な政治学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	政治学の基礎概念、政治の概念、近代国家、国家論と政治体制
	2	政治権力、政治的イデオロギー
	3	現代社会と政治、エリート論と大衆社会論、リーダーシップ論
	4	イデオロギーと政治意識、政治文化
	5	マス・メディア、政治過程論、政党
	6	選挙制度、投票行動
	7	圧力団体、立法過程
	8	政策過程
	9	政治制度論、権力分立論、議院内閣制
	10	大統領制、政治思想と政治理論、近代政治思想の誕生、社会契約説、保守主義、功利主義、行動論政治学、現代政治思想
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ミクロ経済学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	ミクロ経済学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要なミクロ経済学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	市場の働き①
	2	市場の働き②
	3	市場の働き③
	4	市場の働き④
	5	家計の行動①
	6	家計の行動②
	7	家計の行動③
	8	家計の行動④
	9	企業の行動①
	10	企業の行動②
	11	企業の行動③
	12	不完全競争市場①
	13	不完全競争市場②
	14	不完全競争市場③
	15	公共経済学①
	16	公共経済学②
	17	公共経済学③
	18	国際貿易①
	19	国際貿易②
	20	リスクの経済学とゲーム理論
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マクロ経済学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	マクロ経済学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要なマクロ経済学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	第1章 マクロ経済の測定①
	2	第1章 マクロ経済の測定②
	3	第2章 短期① 経済規模①
	4	第2章 短期① 経済規模②
	5	第3章 短期② 貨幣と利子率①
	6	第3章 短期② 貨幣と利子率②
	7	第3章 短期② 貨幣と利子率③
	8	第4章 短期③ 政策効果
	9	第5章 短期④ 国際マクロ経済①
	10	第5章 短期④ 国際マクロ経済②
	11	第5章 短期④ 国際マクロ経済③
	12	第6章 長期① 消費と貯蓄・投資①
	13	第6章 長期① 消費と貯蓄・投資②
	14	第7章 長期② 経済成長①
	15	第7章 長期② 経済成長②
	16	第7章 長期② 経済成長③
	17	第8章 長期③ 物価と失業率
	18	第9章 長期④ 物価と資産①
	19	第9章 長期④ 物価と資産②
	20	第10章 マクロ経済政策
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	社会学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	社会学史
	2	社会学史
	3	社会学史
	4	社会学史
	5	社会学の基礎概念
	6	社会学の基礎概念
	7	社会学の基礎概念
	8	社会集団、地域社会
	9	経営と労働
	10	社会学の現代的課題、社会調査
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会計学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	会計学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な会計学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	簿記の目的、取引・仕訳・勘定・試算表、等
	2	株式会社の資本、決算
	3	企業会計の基礎、一般原則、損益会計
	4	資産会計
	5	負債会計、純資産、財務諸表
	6	財表分析、連結財務諸表、為替換算会計、税効果会計、企業結合会計
	7	会計学問題演習 1
	8	会計学問題演習 2
	9	会計学問題演習 3
	10	会計学問題演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会事情	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	社会事情の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な社会事情の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	教育、文化、科学、情報
	2	警察、消防、環境、防災
	3	食料農業、観光、交通
	4	労働、経済
	5	国際組織、国際会議
	6	世界情勢、各国動向
	7	社会事情問題演習 1
	8	社会事情問題演習 2
	9	社会事情問題演習 3
	10	社会事情問題演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済事情	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	経済事情の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経済事情の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	日本経済事情①
	2	日本経済事情②
	3	日本経済事情③
	4	日本経済事情④
	5	世界経済事情①
	6	世界経済事情②
	7	経済事情問題演習 1
	8	経済事情問題演習 2
	9	経済事情問題演習 3
	10	経済事情問題演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国際関係	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	国際関係の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な国際関係の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	国際関係理論
	2	国際機関1
	3	国際機関2
	4	戦後国際政治史
	5	各地域の政治情勢と紛争、国際経済
	6	地域機構、日本外交史
	7	国際関係問題演習 1
	8	国際関係問題演習 2
	9	国際関係問題演習 3
	10	国際関係問題演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	経営学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な経営学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	伝統的管理論、人間関係論
	2	モチベーション論、近代組織論
	3	現代企業論、経営組織論
	4	経営戦略論
	5	日本的経営、生産管理・品質管理
	6	イノベーション論・製品開発論、マーケティング、企業財務論
	7	経営学問題演習 1
	8	経営学問題演習 2
	9	経営学問題演習 3
	10	経営学問題演習 4
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	行政学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な行政学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	行政国家と福祉国家、官房学とシュタイン行政学
	2	アメリカ行政学形成の背景、政治行政二分論、正統派行政学への批判
	3	科学的管理法と古典的組織理論、人間関係論、現代組織理論
	4	日本の行政組織、日本の行政組織の作動様式、行政改革
	5	官僚制論
	6	公務員制度
	7	政策過程概要、政策形成、政策決定
	8	政策評価、予算・決算制度
	9	行政責任・行政統制、オンブズマン制度
	10	行政と情報管理、中央地方関係、日本の地方自治制度の歴史、日本の地方自治制度、地方自治の諸問題
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財政学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	財政学の基礎知識を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務に必要な財政学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	財政の基礎
	2	財政制度
	3	租税
	4	租税
	5	公債
	6	公債
	7	日本財政史
	8	地方財政
	9	地方財政
	10	財政事情の国際比較
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	一般教養Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	
授業の進め方	問題集に基づき、指定された範囲の確認テストを実施する	
達成目標	日本ビジネス技能検定協会漢字検定 1 級に合格する	
教科書	問題集・プリント	
特記		
授業計画	1	訓読み・送り仮名・熟語 1
	2	訓読み・送り仮名・熟語 2
	3	同音異義・異字同訓
	4	誤字訂正、類義語・反対語
	5	漢字の意味・使い方 1
	6	漢字の意味・使い方 2
	7	漢字の意味・使い方 3
	8	ことわざ・故事成語・慣用句 1
	9	ことわざ・故事成語・慣用句 2
	10	特殊な漢字の読み書き 1
	11	特殊な漢字の読み書き 2
	12	項目別模擬試験 1
	13	項目別模擬試験 2
	14	直前模擬試験 1
	15	直前模擬試験 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	公務員キャリアデザイン 基礎			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	効果測定を通して面接の基礎を修得し、4試験種に向けた面接指導を行う			
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で面接を実施・見学、修正を行い反復する			
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる			
教科書	公務員ガイドブック・デジタルテキスト			
特記				
授業計画	1	公務員全般ガイダンス	31	模擬面接（実践）Ⅲ
	2	面接の基本	32	模擬面接（実践）Ⅲ
	3	自己PR作成	33	模擬面接（実践）Ⅲ
	4	志望動機作成	34	模擬面接（実践）Ⅲ
	5	面接効果測定	35	模擬面接（実践）Ⅲ
	6	受験職種研究 1	36	模擬面接（実践）Ⅲ
	7	受験職種研究 2	37	模擬面接（実践）Ⅲ
	8	模擬面接（基礎）Ⅰ	38	模擬面接（実践）Ⅳ
	9	受験職種研究 3	39	模擬面接（実践）Ⅳ
	10	受験職種研究 4	40	模擬面接（実践）Ⅳ
	11	模擬面接（基礎）Ⅱ	41	模擬面接（実践）Ⅳ
	12	模擬面接（基礎）Ⅱ	42	模擬面接（実践）Ⅳ
	13	模擬面接（基礎）Ⅱ	43	模擬面接（実践）Ⅳ
	14	模擬面接（基礎）Ⅱ	44	模擬面接（実践）Ⅳ
	15	模擬面接（実践）Ⅰ	45	模擬面接（実践）Ⅳ
	16	模擬面接（実践）Ⅰ		
	17	模擬面接（実践）Ⅰ		
	18	模擬面接（実践）Ⅰ		
	19	模擬面接（実践）Ⅰ		
	20	模擬面接（実践）Ⅰ		
	21	模擬面接（実践）Ⅰ		
	22	模擬面接（実践）Ⅰ		
	23	模擬面接（実践）Ⅱ		
	24	模擬面接（実践）Ⅱ		
	25	模擬面接（実践）Ⅱ		
	26	模擬面接（実践）Ⅱ		
	27	模擬面接（実践）Ⅱ		
	28	模擬面接（実践）Ⅱ		
	29	模擬面接（実践）Ⅱ		
	30	模擬面接（実践）Ⅱ		
成績評価方法 （試験実施方法）	効果測定および授業への参加姿勢で評価			
備考	授業実施順序は入替をすることがある			

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策講義	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査パターン 1、パターン 2 の解答方法及び練習
	2	適性検査パターン 3、パターン 4 の解答方法及び練習
	3	適性検査パターン 5、パターン 6 の解答方法及び練習
	4	適性検査練習 1
	5	適性検査練習 2
	6	適性検査練習 3
	7	適性検査練習 4
	8	適性検査練習 5
	9	適性検査練習 6
	10	適性検査練習 7
	11	適性検査練習 8
	12	適性検査練習 9
	13	適性検査練習 1 0
	14	適性検査練習 1 1
	15	適性検査練習 1 2
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	専門科目総合演習 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	専門科目全般の問題演習による総合力の強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	専門試験で合格点を上回る知識の定着	
教科書	科目別答案練習、オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	専門科目総合演習 1
	2	専門科目総合演習 2
	3	専門科目総合演習 3
	4	専門科目総合演習 4
	5	専門科目総合演習 5
	6	専門科目総合演習 6
	7	専門科目総合演習 7
	8	専門科目総合演習 8
	9	専門科目総合演習 9
	10	専門科目総合演習 1 0
	11	専門科目総合演習 1 1
	12	専門科目総合演習 1 2
	13	専門科目総合演習 1 3
	14	専門科目総合演習 1 4
	15	専門科目総合演習 1 5
	16	専門科目総合演習 1 6
	17	専門科目総合演習 1 7
	18	専門科目総合演習 1 8
	19	専門科目総合演習 1 9
	20	専門科目総合演習 2 0
	21	専門科目総合演習 2 1
	22	専門科目総合演習 2 2
	23	専門科目総合演習 2 3
	24	専門科目総合演習 2 4
	25	専門科目総合演習 2 5
	26	専門科目総合演習 2 6
	27	専門科目総合演習 2 7
	28	専門科目総合演習 2 8
	29	専門科目総合演習 2 9
	30	専門科目総合演習 3 0
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験得点を中心に取り組み姿勢等を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員 基礎情報工学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	情報処理に活用することを前提とした数学知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	IT基礎全般において基本的な理解を深める	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ハードウェア I
	2	基礎理論
	3	ハードウェア II
	4	ソフトウェア
	5	アルゴリズム
	6	データベース
	7	ネットワーク
	8	セキュリティ
	9	システム構成要素
	10	マルチメディア
	11	システム開発
	12	マネジメント
	13	ストラテジ
	14	問題演習・解説
	15	問題演習・解説
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員 IT基礎知識	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	デジタル枠での採用試験への対応を前提としたIT知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	システム戦略、システム開発技術
	2	ソフトウェア開発管理技術
	3	プロジェクトマネジメント
	4	システム監査
	5	基礎理論
	6	アルゴリズムとプログラミング
	7	コンピュータ構成要素
	8	システム構成要素
	9	ソフトウェア
	10	ハードウェア
	11	ヒューマンインターフェース
	12	マルチメディア
	13	データベース
	14	ネットワーク
	15	セキュリティ
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公官庁講話	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	現役公務員の様々な職種の方の講話を聴き職種への理解を深める	
授業の進め方	現役公務員の話聞き、質疑応答や必要に応じレポートの記入をする	
達成目標	希望職種のみならず幅広い職種を理解する	
教科書	なし	
特記	国家省庁、国家公安、地方行政、警察官、消防官など幅広い職種の現職公務員の実務経験に基づく講義	
授業計画	1	職種別の業務内容、試験内容に関する講義
	2	受験手続に関する講義
	3	職種別ガイダンス 1
	4	職種別ガイダンス 2
	5	職種別ガイダンス 3
	6	日程別受験先選択の為の講義
	7	職種別ガイダンス 4
	8	職種別ガイダンス 5
	9	職種別ガイダンス 6
	10	職種別ガイダンス 7
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度などによって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員模擬受験	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	模擬公務員試験を実施し実際の公務員試験の流れを把握する	
授業の進め方	履歴書作成、ES 作成を行い、模擬公務員試験を実施する	
達成目標	模擬公務員試験の合格を目指す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	模擬受験（受験先確定）
	2	模擬受験（履歴書作成）
	3	模擬受験（ES 作成）
	4	模擬受験（ES 作成）
	5	模擬受験一次試験
	6	模擬受験一次試験
	7	模擬受験 面接練習
	8	模擬受験 面接練習
	9	模擬受験二次試験
	10	模擬受験二次試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬公務員試験の成績や授業への参加姿勢で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級数的処理	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	4 0 時間	
授業回数	2 0 回	
授業概要	数的分野全般のより高度な解法の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	数的処理の基礎知識をもとに、より難易度の高い問題が解答出来るようになる。	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	整数
	2	割合と比
	3	方程式・不等式
	4	速さ、仕事算
	5	数列、計算パズル
	6	場合の数、確率
	7	資料解釈
	8	論理、集合の要素
	9	順序
	10	位置・方位
	11	対応
	12	勝敗
	13	推理・手順
	14	回転と軌跡
	15	道順・一筆書き・位相
	16	平面構成
	17	正多面体
	18	展開図
	19	立体構成
	20	図形の計量
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級教養科目総合	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	教養科目全般の総合的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	教養科目の地理・日本史・生物、全般の知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	地理 世界の地形
	2	地理 世界の気候
	3	地理 世界の農業
	4	地理 世界の資源
	5	地理 世界の工業
	6	地理 地図の特色と利用
	7	地理 生活と地域
	8	地理 日本地誌
	9	地理 世界地誌（アジア・アフリカ・ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア）
	10	日本史 大和政権と大化の改新・平安時代
	11	日本史 鎌倉時代
	12	日本史 室町時代
	13	日本史 封建社会の確立
	14	日本史 江戸時代（武断政治、文治政治、三大改革）
	15	日本史 江戸時代（幕末）、明治維新
	16	日本史 立憲体制の確立
	17	日本史 近代文化の発展
	18	日本史 大正、昭和
	19	世界史 中国史1（殷～漢）
	20	世界史 中国史2（魏晉南北朝～隋・唐）
	21	世界史 中国史3（宋・元）
	22	世界史 中国史4（明・清）
	23	世界史 中国史5（清の崩壊・中華民国）
	24	生物 生体の構造
	25	生物 生体内の代謝
	26	生物 生殖と発生
	27	生物 遺伝と変異
	28	生物 刺激の受容と反応
	29	生物 内部環境の恒常性と調節・からだの防衛反応
	30	生物 生物の集団・生物の進化と系統
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験を軸に、授業への参加姿勢を含み総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	就職活動準備			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2 年制			
履修年次	1 年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	90 時間			
授業回数	45 回			
授業概要	公務員及び民間就職の活動前に基礎的なビジネスマナーや所作を学ぶ			
授業の進め方	座学中心ではあるが、一部実践を取り入れて進行する			
達成目標	就職活動を始めるうえでの基礎的スキルやマインドを身に付ける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	就職活動の心構え	31	自己PR作成 1
	2	現在の就職を取り巻く環境	32	自己PR作成 2
	3	身だしなみ 1（頭髪など）	33	自己PRの発表準備 1
	4	身だしなみ 2（スーツの着こなし）	34	自己PRの発表準備 2
	5	正しい言葉遣い 1（敬語の使用法）	35	効果測定
	6	正しい言葉遣い 2（ビジネス会話）	36	求人票の見方
	7	正しい言葉遣い 3（復習および反復練習）	37	業界研究の手法
	8	正しい言葉遣い 4（効果測定）	38	業界研究 1
	9	立ち居振る舞い 1（立ち姿勢・お辞儀）	39	業界研究 2
	10	立ち居振る舞い 2（表情・挨拶）	40	業界研究 3
	11	立ち居振る舞い 3（復習および反復練習）	41	業界研究の発表準備 1
	12	立ち居振る舞い 4（効果測定）	42	業界研究の発表準備 2
	13	電話の掛け方 1（基本所作）	43	業界研究の発表準備 3
	14	電話の掛け方 2（実践会話）	44	業界研究の発表準備 4
	15	電話の掛け方 3（復習および反復練習）	45	効果測定
	16	電話の掛け方 4（効果測定）		
	17	ペン習字 1		
	18	ペン習字 2		
	19	ペン習字 3		
	20	ペン習字 4		
	21	エントリーシートの記入方法 1（レクチャー）		
	22	エントリーシートの記入方法 2（経歴欄の仮作成）		
	23	エントリーシートの記入方法 3（自己PR等を含めた仮作成）		
	24	エントリーシートの記入方法 4（提出用シート作成）		
	25	面接試験の評価方法 1（個人面接）		
	26	面接試験の評価方法 2（集団面接）		
	27	面接試験の評価方法 3（集団討論）		
	28	自己分析 1		
	29	自己分析 2		
	30	自己分析 3		
成績評価方法 (試験実施方法)	実技による効果測定の得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎自然科学総合	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	理数系科目の基礎を幅広く総合的に学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	生物（生体の構造、生体内の代謝、生殖と発生）
	2	生物（遺伝と変異、刺激の需要と反応）
	3	生物（内部環境の恒常性と調節、からだの防衛反応）
	4	地学（気象現象、日本の四季）
	5	地学（太陽系と宇宙の構造、太陽系と惑星）
	6	物理（力 1、力 2、運動方程式）
	7	物理（電気、電気と磁力）
	8	化学（物質の構造、物質の状態）
	9	化学（物質の変化）
	10	自然科学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎人文科学総合	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	西洋および東洋の倫理や芸術、文学を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	一般教養として必要な倫理・芸術・文学の基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	古代ギリシャの思想家、経験論・合理論・観念論
	2	功利主義、プラグマティズム、実存主義
	3	日本の思想家、諸子百家
	4	西洋美術、西洋文学、西洋音楽、西洋建築
	5	江戸時代までの日本文学、明治時代以降の日本文学
	6	人文科学演習
	7	人文科学演習
	8	人文科学演習
	9	人文科学演習
	10	人文科学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎数学 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	20 時間	
授業回数	10 回	
授業概要	基本的な数学計算の能力を身に着け、文章問題を解答する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習	
達成目標	数と式、二次方程式を中心に、基礎的な知識と計算技術を身に着ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	数と式
	2	方程式
	3	関数
	4	微分積分
	5	式と図形、不等式と領域
	6	指数、対数
	7	三角関数、ベクトル
	8	数と体系
	9	数学演習
	10	数学演習
成績評価方法 (試験実施方法)	基本的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	基礎言語Ⅱ 英語	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	文法や熟語など英語分野の基礎的な知識の習得	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	公務で求められる基礎的な英語力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	文の種類
	2	be動詞・動詞、熟語
	3	現在時制・過去時制
	4	未来表現
	5	完了形
	6	助動詞
	7	受動態
	8	不定詞
	9	動名詞
	10	関係詞
	11	仮定法
	12	接続詞
	13	話法、否定
	14	強調・倒置・省略
	15	前置詞・名詞・代名詞・冠詞
成績評価方法 (試験実施方法)	総合的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	論理、集合の要素の個数
	2	順序
	3	対応
	4	位置と方位
	5	折り紙、回転の軌跡
	6	正多面体・展開図
	7	平面図形の構成、サイコロ
	8	方程式・不等式、整数・計算パズル
	9	割合と比
	10	資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、数的処理の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	スタンダード問題集、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	勝ち負け、カード・ゲーム
	2	ウソの発言、推理・手順、暗号
	3	見取り図と投影図、積木
	4	立体の切断・回転体、一筆書き
	5	平面図形の軽量
	6	立体図形の軽量
	7	速さ
	8	仕事算
	9	場合の数、確率
	10	資料解釈
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目総合 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	社会科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	政治 基本理念、政治制度
	2	政治 基本的人権
	3	政治 国会と内閣と裁判所の機構と運営
	4	政治 地方自治制度、選挙制度
	5	経済 現代の企業と市場
	6	経済 国民所得と通貨制度
	7	経済 金融政策と財政政策
	8	経済 貿易と国際経済の動向
	9	社会 労働問題と社会保障
	10	社会 環境問題と国際関係
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目総合Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	問題演習を通じ、知識系科目の応用知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	人文科学分野に関するより幅広い知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト、実戦問題集	
特記		
授業計画	1	日本史 古代～中世
	2	日本史 近世～近代
	3	日本史 現代
	4	世界史 東洋史
	5	世界史 第二次世界大戦
	6	世界史 近代ヨーロッパ～第一次世界大戦
	7	地理 世界の地形・気候
	8	地理 世界の工業・資源
	9	地理 日本地誌
	10	地理 世界地誌
成績評価方法 (試験実施方法)	全ジャンルから100問を抜粋した試験を軸に、授業参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 数的処理本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	2 0 時間	
授業回数	1 0 回	
授業概要	数的分野全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1
	2	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 2
	3	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 3
	4	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 4
	5	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 5
	6	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 6
	7	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 7
	8	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 8
	9	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 9
	10	数的処理・判断推理・空間把握・資料解釈 本試験対策 1 0
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	応用演習 知識系科目本試験対策	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	20時間	
授業回数	10回	
授業概要	知識系科目全般について、更なる問題演習による試験直前の応用力強化	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	身についた解法や公式を基に、答えを導き出すことが出来る	
教科書	実戦問題集	
特記		
授業計画	1	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策1
	2	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策2
	3	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策3
	4	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策4
	5	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策5
	6	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策6
	7	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策7
	8	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策8
	9	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策9
	10	政治・経済・社会・日本史・世界史・地理・思想倫理 本試験対策10
成績評価方法 (試験実施方法)	実践的な知識を測定する試験の結果を軸に、授業への参加姿勢を含め総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	総合答案練習 I			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2 年制			
履修年次	2 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	1 5 0 時間			
授業回数	7 5 回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	基礎的な内容の50題の模擬試験で30点以上を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	基礎的なレベルの模擬試験①	46	一部応用レベルの問題も含む模擬試験④
	2・3	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	47・48	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	4	基礎的なレベルの模擬試験②	49	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑤
	5・6	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	50・51	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	7	基礎的なレベルの模擬試験③	52	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑥
	8・9	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	53・54	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	10	基礎的なレベルの模擬試験④	55	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑦
	11・12	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	56・57	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	13	基礎的なレベルの模擬試験⑤	58	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑧
	14・15	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	59・60	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	16	基礎的なレベルの模擬試験⑥	61	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑨
	17・18	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	62・63	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	19	基礎的なレベルの模擬試験⑦	64	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑩
	20・21	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	65・66	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	22	基礎的なレベルの模擬試験⑧	67	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑪
	23・24	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	68・69	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	25	基礎的なレベルの模擬試験⑨	70	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑫
	26・27	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	71・72	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	28	基礎的なレベルの模擬試験⑩	73	一部応用レベルの問題も含む模擬試験⑬
	29・30	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	74・75	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	31	基礎的なレベルの模擬試験⑪		
	32・33	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）		
	34	基礎的なレベルの模擬試験⑫		
	35・36	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）		
	37	一部応用レベルの問題も含む模擬試験①		
	38・39	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）		
	40	一部応用レベルの問題も含む模擬試験②		
	41・42	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）		
43	一部応用レベルの問題も含む模擬試験③			
44・45	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）			
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	総合答案練習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	40時間	
授業回数	20回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示する	
達成目標	基礎レベルから一部応用問題を含む模擬試験において全問題の7割以上の正解を目標とする	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験 1
	2	地方公務員タイプの模擬試験 1
	3	地方公務員タイプの模擬試験 2
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2 解説・復習
	5	地方公務員タイプの模擬試験 3
	6	地方公務員タイプの模擬試験 3 解説・復習
	7	国家公務員タイプの模擬試験 2
	8	国家公務員タイプの模擬試験 2 解説・復習
	9	地方公務員タイプの模擬試験 4
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4 解説・復習
	11	国家公務員タイプの模擬試験 3
	12	国家公務員タイプの模擬試験 3 解説・復習
	13	国家公務員タイプの模擬試験 4
	14	国家公務員タイプの模擬試験 4 解説・復習
	15	国家公務員タイプの模擬試験 5
	16	国家公務員タイプの模擬試験 5 解説・復習
	17	地方公務員タイプの模擬試験 5
	18	地方公務員タイプの模擬試験 5 解説・復習
	19	地方公務員タイプの模擬試験 6
	20	地方公務員タイプの模擬試験 6 解説・復習
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験・模擬受験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習 I			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2 年制			
履修年次	2 年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	1 8 0 時間			
授業回数	9 0 回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	国家公務員タイプの模擬試験 1	46	地方公務員タイプの模擬試験 3
	2・3	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	47・48	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	4	国家公務員タイプの模擬試験 2	49	地方公務員タイプの模擬試験 4
	5・6	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	50・51	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	7	国家公務員タイプの模擬試験 3	52	地方公務員タイプの模擬試験 5
	8・9	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	53・54	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	10	国家公務員タイプの模擬試験 4	55	地方公務員タイプの模擬試験 6
	11・12	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	56・57	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	13	国家公務員タイプの模擬試験 5	58	地方公務員タイプの模擬試験 7
	14・15	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	59・60	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	16	国家公務員タイプの模擬試験 6	61	地方公務員タイプの模擬試験 8
	17・18	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	62・63	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	19	国家公務員タイプの模擬試験 7	64	地方公務員タイプの模擬試験 9
	20・21	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	65・66	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	22	国家公務員タイプの模擬試験 8	67	地方公務員タイプの模擬試験 10
	23・24	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	68・69	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	25	国家公務員タイプの模擬試験 9	70	地方公務員タイプの模擬試験 11
	26・27	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	71・72	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	28	国家公務員タイプの模擬試験 10	73	地方公務員タイプの模擬試験 12
	29・30	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	74・75	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	31	国家公務員タイプの模擬試験 11	76	地方公務員タイプの模擬試験 13
	32・33	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	77・78	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	34	国家公務員タイプの模擬試験 12	79	地方公務員タイプの模擬試験 14
	35・36	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	80・81	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	37	国家公務員タイプの模擬試験 13	82	地方公務員タイプの模擬試験 15
	38・39	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	83・84	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	40	地方公務員タイプの模擬試験 1	85	地方公務員タイプの模擬試験 16
	41・42	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	86・87	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
	43	地方公務員タイプの模擬試験 2	88	地方公務員タイプの模擬試験 17
	44・45	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）	89・90	模擬試験の解説（知能系・知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	直前答案練習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ			
授業の進め方	2時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う			
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験 1	31	地方公務員タイプの模擬試験11
	2	模擬試験の解説（知能系科目）	32	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）	33	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2	34	地方公務員タイプの模擬試験12
	5	模擬試験の解説（知能系科目）	35	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）	36	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	地方公務員タイプの模擬試験 3	37	地方公務員タイプの模擬試験13
	8	模擬試験の解説（知能系科目）	38	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）	39	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4	40	地方公務員タイプの模擬試験14
	11	模擬試験の解説（知能系科目）	41	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）	42	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	地方公務員タイプの模擬試験 5	43	地方公務員タイプの模擬試験15
	14	模擬試験の解説（知能系科目）	44	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）	45	模擬試験の解説（知識系科目）
	16	地方公務員タイプの模擬試験 6	46	地方公務員タイプの模擬試験16
	17	模擬試験の解説（知能系科目）	47	模擬試験の解説（知能系科目）
	18	模擬試験の解説（知識系科目）	48	模擬試験の解説（知識系科目）
	19	地方公務員タイプの模擬試験 7	49	地方公務員タイプの模擬試験17
	20	模擬試験の解説（知能系科目）	50	模擬試験の解説（知能系科目）
	21	模擬試験の解説（知識系科目）	51	模擬試験の解説（知識系科目）
	22	地方公務員タイプの模擬試験 8	52	地方公務員タイプの模擬試験18
	23	模擬試験の解説（知能系科目）	53	模擬試験の解説（知能系科目）
	24	模擬試験の解説（知識系科目）	54	模擬試験の解説（知識系科目）
	25	地方公務員タイプの模擬試験 9	55	地方公務員タイプの模擬試験19
	26	模擬試験の解説（知能系科目）	56	模擬試験の解説（知能系科目）
	27	模擬試験の解説（知識系科目）	57	模擬試験の解説（知識系科目）
	28	地方公務員タイプの模擬試験10	58	地方公務員タイプの模擬試験20
	29	模擬試験の解説（知能系科目）	59	模擬試験の解説（知能系科目）
	30	模擬試験の解説（知識系科目）	60	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 （試験実施方法）	模擬試験における得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	直前答案練習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	模擬試験と解説を通じ、復習および実践的な知識を学ぶ	
授業の進め方	2 時間程度の模擬試験を実施、得点データを開示し、解説を行う	
達成目標	本試験レベルに即した模擬試験で過年度の合格水準点を取得する	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	地方公務員タイプの模擬試験 1
	2	模擬試験の解説（知能系科目）
	3	模擬試験の解説（知識系科目）
	4	地方公務員タイプの模擬試験 2
	5	模擬試験の解説（知能系科目）
	6	模擬試験の解説（知識系科目）
	7	地方公務員タイプの模擬試験 3
	8	模擬試験の解説（知能系科目）
	9	模擬試験の解説（知識系科目）
	10	地方公務員タイプの模擬試験 4
	11	模擬試験の解説（知能系科目）
	12	模擬試験の解説（知識系科目）
	13	地方公務員タイプの模擬試験 5
	14	模擬試験の解説（知能系科目）
	15	模擬試験の解説（知識系科目）
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅰ 専門科目	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	専門模擬試験 1
	2	専門模擬試験 2
	3	専門模擬試験 3
	4	専門模擬試験 4
	5	専門模擬試験 5
	6	専門模擬試験 6
	7	専門模擬試験 7
	8	専門模擬試験 8
	9	専門模擬試験 9
	10	専門模擬試験 10
	11	専門模擬試験 11
	12	専門模擬試験 12
	13	専門模擬試験 13
	14	専門模擬試験 14
	15	専門模擬試験 15
	16	専門模擬試験 16
	17	専門模擬試験 17
	18	専門模擬試験 18
	19	専門模擬試験 19
	20	専門模擬試験 20
	21	専門模擬試験 21
	22	専門模擬試験 22
	23	専門模擬試験 23
	24	専門模擬試験 24
	25	専門模擬試験 25
	26	専門模擬試験 26
	27	専門模擬試験 27
	28	専門模擬試験 28
	29	専門模擬試験 29
	30	専門模擬試験 30
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅱ 専門科目	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、専門科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	専門模擬試験 1
	2	専門模擬試験 2
	3	専門模擬試験 3
	4	専門模擬試験 4
	5	専門模擬試験 5
	6	専門模擬試験 6
	7	専門模擬試験 7
	8	専門模擬試験 8
	9	専門模擬試験 9
	10	専門模擬試験 10
	11	専門模擬試験 11
	12	専門模擬試験 12
	13	専門模擬試験 13
	14	専門模擬試験 14
	15	専門模擬試験 15
	16	専門模擬試験 16
	17	専門模擬試験 17
	18	専門模擬試験 18
	19	専門模擬試験 19
	20	専門模擬試験 20
	21	専門模擬試験 21
	22	専門模擬試験 22
	23	専門模擬試験 23
	24	専門模擬試験 24
	25	専門模擬試験 25
	26	専門模擬試験 26
	27	専門模擬試験 27
	28	専門模擬試験 28
	29	専門模擬試験 29
	30	専門模擬試験 30
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅲ 教養科目	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	教養模擬試験 1
	2	教養模擬試験 2
	3	教養模擬試験 3
	4	教養模擬試験 4
	5	教養模擬試験 5
	6	教養模擬試験 6
	7	教養模擬試験 7
	8	教養模擬試験 8
	9	教養模擬試験 9
	10	教養模擬試験 10
	11	教養模擬試験 11
	12	教養模擬試験 12
	13	教養模擬試験 13
	14	教養模擬試験 14
	15	教養模擬試験 15
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅳ 教養科目	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	模擬試験	
特記		
授業計画	1	教養模擬試験 1
	2	教養模擬試験 2
	3	教養模擬試験 3
	4	教養模擬試験 4
	5	教養模擬試験 5
	6	教養模擬試験 6
	7	教養模擬試験 7
	8	教養模擬試験 8
	9	教養模擬試験 9
	10	教養模擬試験 10
	11	教養模擬試験 11
	12	教養模擬試験 12
	13	教養模擬試験 13
	14	教養模擬試験 14
	15	教養模擬試験 15
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	上級答案練習Ⅴ 公安職対策	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目の知識を学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる	
教科書	公安系模擬試験	
特記		
授業計画	1	公安系模擬試験 1
	2	公安系模擬試験 2
	3	公安系模擬試験 3
	4	公安系模擬試験 4
	5	公安系模擬試験 5
	6	公安系模擬試験 6
	7	公安系模擬試験 7
	8	公安系模擬試験 8
	9	公安系模擬試験 9
	10	公安系模擬試験 10
	11	公安系模擬試験 11
	12	公安系模擬試験 12
	13	公安系模擬試験 13
	14	公安系模擬試験 14
	15	公安系模擬試験 15
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	上級答案練習 総合試験対策			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	180時間			
授業回数	90回			
授業概要	模擬試験と解答解説の学習を通じ、教養科目および専門科目の知識を学ぶ			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う			
達成目標	各本試験に即した模擬試験で、出題科目の知識を定着させる			
教科書	模擬試験			
特記				
授業計画	1・2	教養模擬試験 1・2	60・61	専門模擬試験 15・16
	3・4	教養模擬試験 3・4	62・63	専門模擬試験 17・18
	5・6	教養模擬試験 5・6	64・65	専門模擬試験 19・20
	7・8	教養模擬試験 7・8	66・66	専門模擬試験 21・22
	9・10	教養模擬試験 9・10	68・69	専門模擬試験 23・24
	11・12	教養模擬試験 11・12	70・70	専門模擬試験 25・26
	13・14	教養模擬試験 13・14	72・73	専門模擬試験 27・28
	15・16	教養模擬試験 15・16	74・75	専門模擬試験 29・30
	17・18	教養模擬試験 17・18	76・77	専門模擬試験 31・32
	19・20	教養模擬試験 19・20	78・79	専門模擬試験 33・34
	21・22	教養模擬試験 21・22	80・81	専門模擬試験 35・36
	23・24	教養模擬試験 23・24	82・83	専門模擬試験 37・38
	25・26	教養模擬試験 25・26	84・85	専門模擬試験 39・40
	27・28	教養模擬試験 27・28	86・87	専門模擬試験 41・42
	29・30	教養模擬試験 29・30	88・89	専門模擬試験 43・44
	31・32	教養模擬試験 31・32	90	専門模擬試験 45
	33・34	教養模擬試験 33・34		
	35・36	教養模擬試験 35・36		
	37・38	教養模擬試験 37・38		
	39・40	教養模擬試験 39・40		
	41・42	教養模擬試験 41・42		
	43・44	教養模擬試験 43・44		
	45	教養模擬試験 45		
	46・47	専門模擬試験 1・2		
	48・49	専門模擬試験 3・4		
	50・51	専門模擬試験 5・6		
	52・53	専門模擬試験 7・8		
	54・55	専門模擬試験 9・10		
56・57	専門模擬試験 11・12			
58・59	専門模擬試験 13・14			
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	専門科目総合演習Ⅱ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	専門科目全般の問題演習による総合力の強化			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う			
達成目標	専門試験で合格点を上回る知識の定着			
教科書	科目別答案練習、オリジナルテキスト、実戦問題集			
特記				
授業計画	1	専門科目総合演習 1	31	専門科目総合演習 3 1
	2	専門科目総合演習 2	32	専門科目総合演習 3 2
	3	専門科目総合演習 3	33	専門科目総合演習 3 3
	4	専門科目総合演習 4	34	専門科目総合演習 3 4
	5	専門科目総合演習 5	35	専門科目総合演習 3 5
	6	専門科目総合演習 6	36	専門科目総合演習 3 6
	7	専門科目総合演習 7	37	専門科目総合演習 3 7
	8	専門科目総合演習 8	38	専門科目総合演習 3 8
	9	専門科目総合演習 9	39	専門科目総合演習 3 9
	10	専門科目総合演習 1 0	40	専門科目総合演習 4 0
	11	専門科目総合演習 1 1	41	専門科目総合演習 4 1
	12	専門科目総合演習 1 2	42	専門科目総合演習 4 2
	13	専門科目総合演習 1 3	43	専門科目総合演習 4 3
	14	専門科目総合演習 1 4	44	専門科目総合演習 4 4
	15	専門科目総合演習 1 5	45	専門科目総合演習 4 5
	16	専門科目総合演習 1 6	46	専門科目総合演習 4 6
	17	専門科目総合演習 1 7	47	専門科目総合演習 4 7
	18	専門科目総合演習 1 8	48	専門科目総合演習 4 8
	19	専門科目総合演習 1 9	49	専門科目総合演習 4 9
	20	専門科目総合演習 2 0	50	専門科目総合演習 5 0
	21	専門科目総合演習 2 1	51	専門科目総合演習 5 1
	22	専門科目総合演習 2 2	52	専門科目総合演習 5 2
	23	専門科目総合演習 2 3	53	専門科目総合演習 5 3
	24	専門科目総合演習 2 4	54	専門科目総合演習 5 4
	25	専門科目総合演習 2 5	55	専門科目総合演習 5 5
	26	専門科目総合演習 2 6	56	専門科目総合演習 5 6
	27	専門科目総合演習 2 7	57	専門科目総合演習 5 7
	28	専門科目総合演習 2 8	58	専門科目総合演習 5 8
	29	専門科目総合演習 2 9	59	専門科目総合演習 5 9
	30	専門科目総合演習 3 0	60	専門科目総合演習 6 0
	成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験得点を中心に取り組み姿勢等を含め総合的に評価		
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員時事研究	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	就職先に関連する社会的ニュースを考察する	
授業の進め方	新聞やインターネットの情報を取得し、調査の上で意見・感想をまとめる	
達成目標	就職先およびその業務に関わる知識を身につける	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	情報収集と考察 テーマ1
	2	情報収集と考察 テーマ2
	3	情報収集と考察 テーマ3
	4	情報収集と考察 テーマ4
	5	情報収集と考察 テーマ5
	6	情報収集と考察 テーマ6
	7	情報収集と考察 テーマ7
	8	情報収集と考察 テーマ8
	9	情報収集と考察 テーマ9
	10	情報収集と考察 テーマ10
	11	情報収集と考察 テーマ11
	12	情報収集と考察 テーマ12
	13	情報収集と考察 テーマ13
	14	情報収集と考察 テーマ14
	15	情報収集と考察 テーマ15
	16	情報収集と考察 テーマ16
	17	情報収集と考察 テーマ17
	18	情報収集と考察 テーマ18
	19	情報収集と考察 テーマ19
	20	情報収集と考察 テーマ20
	21	情報収集と考察 テーマ21
	22	情報収集と考察 テーマ22
	23	情報収集と考察 テーマ23
	24	情報収集と考察 テーマ24
	25	情報収集と考察 テーマ25
	26	情報収集と考察 テーマ26
	27	情報収集と考察 テーマ27
	28	情報収集と考察 テーマ28
	29	情報収集と考察 テーマ29
	30	情報収集と考察 テーマ30
成績評価方法 (試験実施方法)	提出物の内容を評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員春試験	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた基礎的な面接の練習	
授業の進め方	座学および面接基礎内容を中心としたグループ・個人面接を実施	
達成目標	面接の基礎を習得し、実践できる	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	面接基礎講座①
	2	面接基礎講座②
	3	面接基礎講座③
	4	面接基礎講座④
	5	模擬面接1（入退室）
	6	模擬面接2（入退室）
	7	模擬面接3（入退室）
	8	模擬面接4（入退室）
	9	模擬面接1（基礎内容全般）
	10	模擬面接2（基礎内容全般）
	11	模擬面接3（基礎内容全般）
	12	模擬面接4（基礎内容全般）
	13	模擬面接5（基礎内容全般）
	14	模擬面接6（基礎内容全般）
	15	模擬面接7（基礎内容全般）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	公務員キャリアデザイン 公務員秋試験			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択A			
授業方法	演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	公務員春試験の二次試験を踏まえた実践的な面接の練習			
授業の進め方	職種研究およびグループ単位で個人面接を実施・見学、修正を行い反復する			
達成目標	誰から見ても好印象で、自分の良さが伝わるコミュニケーションができる			
教科書	なし			
特記				
授業計画	1	受験職種研究 1（職種①）	31	受験職種研究 1 6（職種⑥）
	2	受験職種研究 2（職種①）	32	受験職種研究 1 7（職種⑥）
	3	受験職種研究 3（職種①）	33	受験職種研究 1 8（職種⑤）
	4	模擬個人面接 1（職種①）	34	模擬個人面接 1 6（職種⑤）
	5	模擬個人面接 2（職種①）	35	模擬個人面接 1 7（職種⑤）
	6	模擬個人面接 3（職種①）	36	模擬個人面接 1 8（職種⑤）
	7	受験職種研究 4（職種②）	37	受験職種研究 1 9（職種⑦）
	8	受験職種研究 5（職種②）	38	受験職種研究 2 0（職種⑦）
	9	受験職種研究 6（職種②）	39	受験職種研究 2 1（職種⑦）
	10	模擬個人面接 4（職種②）	40	模擬個人面接 1 9（職種⑦）
	11	模擬個人面接 5（職種②）	41	模擬個人面接 2 0（職種⑦）
	12	模擬個人面接 6（職種②）	42	模擬個人面接 2 1（職種⑦）
	13	受験職種研究 7（職種③）	43	受験職種研究 2 2（職種⑧）
	14	受験職種研究 8（職種③）	44	受験職種研究 2 3（職種⑧）
	15	受験職種研究 9（職種③）	45	受験職種研究 2 4（職種⑧）
	16	模擬個人面接 7（職種③）	46	模擬個人面接 2 2（職種⑧）
	17	模擬個人面接 8（職種③）	47	模擬個人面接 2 3（職種⑧）
	18	模擬個人面接 9（職種③）	48	模擬個人面接 2 4（職種⑧）
	19	受験職種研究 1 0（職種④）	49	受験職種研究 2 5（職種⑨）
	20	受験職種研究 1 1（職種④）	50	受験職種研究 2 6（職種⑨）
	21	受験職種研究 1 2（職種④）	51	受験職種研究 2 7（職種⑨）
	22	模擬個人面接 1 0（職種④）	52	模擬個人面接 2 5（職種⑨）
	23	模擬個人面接 1 1（職種④）	53	模擬個人面接 2 6（職種⑨）
	24	模擬個人面接 1 2（職種④）	54	模擬個人面接 2 7（職種⑨）
	25	受験職種研究 1 3（職種⑤）	55	受験職種研究 2 8（職種⑩）
	26	受験職種研究 1 4（職種⑤）	56	受験職種研究 2 9（職種⑩）
	27	受験職種研究 1 5（職種⑤）	57	受験職種研究 3 0（職種⑩）
	28	模擬個人面接 1 3（職種⑤）	58	模擬個人面接 2 8（職種⑩）
	29	模擬個人面接 1 4（職種⑤）	59	模擬個人面接 2 9（職種⑩）
	30	模擬個人面接 1 5（職種⑤）	60	模擬個人面接 3 0（職種⑩）
成績評価方法 (試験実施方法)	授業への参加姿勢で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	6 0 時間	
授業回数	3 0 回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験パターン1の解答方法
	2	適性試験パターン1の練習
	3	適性試験パターン2の解答方法
	4	適性試験パターン2の練習
	5	適性試験パターン3の解答方法
	6	適性試験パターン3の練習
	7	適性試験練習1
	8	適性試験練習2
	9	適性試験練習3
	10	適性試験練習4
	11	適性試験練習5
	12	適性試験練習6
	13	適性試験練習7
	14	適性試験練習8
	15	適性試験練習9
	16	適性試験練習10
	17	適性試験練習11
	18	適性試験練習12
	19	適性試験練習13
	20	適性試験練習14
	21	模擬試験（適性試験）1
	22	模擬試験（適性試験）2
	23	模擬試験（適性試験）3
	24	模擬試験（適性試験）4
	25	模擬試験（適性試験）5
	26	模擬試験（適性試験）6
	27	模擬試験（適性試験）7
	28	模擬試験（適性試験）8
	29	模擬試験（適性試験）9
	30	模擬試験（適性試験）10
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員適性検査演習Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	公務員試験で重視される事務適性試験の得点力を強化する	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、1回15分程度の問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性試験パターン1の解答方法
	2	適性試験パターン1の練習
	3	適性試験パターン2の解答方法
	4	適性試験パターン2の練習
	5	適性試験パターン3の解答方法
	6	適性試験パターン3の練習
	7	適性試験練習1
	8	適性試験練習2
	9	適性試験練習3
	10	適性試験練習4
	11	適性試験練習5
	12	適性試験練習6
	13	模擬試験（適性試験）1
	14	模擬試験（適性試験）2
	15	模擬試験（適性試験）3
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員教養論作文対策	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	公務員初級試験を見据えての文章作成スキルの習得	
授業の進め方	レクチャーの後、テーマを与え実践し提出、必要に応じ添削を行う	
達成目標	時間内に正しい文章構成で分かりやすい文章を作成する能力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	論作文の書き方と正しい用紙の使い方
	2	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 1
	3	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 2
	4	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 3
	5	試験種別作文テーマの傾向、基礎的テーマでの練習 4
	6	作文練習 1
	7	作文練習 2
	8	作文練習 3
	9	作文練習 4
	10	作文練習 5
	11	作文練習 6
	12	作文練習 7
	13	作文練習 8
	14	作文練習 9
	15	作文練習 1 0
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員専門論作文対策	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	専門論文・論作文対策について学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う	
達成目標	専門・教養の論作文対策から公務に必要な基礎知識を習得する	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	専門論文・論作文演習と解説①
	2	専門論文・論作文演習と解説②
	3	専門論文・論作文演習と解説③
	4	専門論文・論作文演習と解説④
	5	専門論文・論作文演習と解説⑤
	6	専門論文・論作文演習と解説⑥
	7	専門論文・論作文演習と解説⑦
	8	専門論文・論作文演習と解説⑧
	9	専門論文・論作文演習と解説⑨
	10	専門論文・論作文演習と解説⑩
	11	専門論文・論作文演習と解説⑪
	12	専門論文・論作文演習と解説⑫
	13	専門論文・論作文演習と解説⑬
	14	専門論文・論作文演習と解説⑭
	15	専門論文・論作文演習と解説⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	提出した論文・作文の完成度を中心に、取り組み姿勢を含めて総合的に評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員就職試験対策演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習	
授業時間	3 0 時間	
授業回数	1 5 回	
授業概要	多様化する公務員試験に対応するための一般教養力の習得	
授業の進め方	基礎的な解答方法を学んだ後、問題演習と検証を繰り返し行う	
達成目標	様々なタイプの問題に対し、早く正確に解けるスキルを身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	適性検査練習 1
	2	適性検査練習 2
	3	適性検査練習 3
	4	適性検査練習 4
	5	適性検査練習 5
	6	適性検査練習 6
	7	適性検査練習 7
	8	適性検査練習 8
	9	適性検査練習 9
	10	適性検査練習 1 0
	11	適性検査練習 1 1
	12	適性検査練習 1 2
	13	適性検査練習 1 3
	14	適性検査練習 1 4
	15	適性検査練習 1 5
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験における得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公務員倫理	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択A	
授業方法	演習（実務経験のある教員による授業科目です）	
授業時間	1 5 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	公務人材開発協会より講師をお招きし、公務員に関する法令やサービス規程を学ぶ	
授業の進め方	実務経験者による講義をもとに、各自研究課題を作成する	
達成目標	入庁前に公務員としての正しい心構えを身に付ける	
教科書	なし	
特記	公官庁の研修を多く手掛ける公務人材開発協会による講義と演習	
授業計画	1	税制の理解①
	2	税制の理解②
	3	税制に関するレポート作成
	4	公務員の倫理とサービス規程①
	5	公務員の倫理とサービス規程②
	6	公務員の倫理とサービス規程③
	7	サービス規定に関するレポート作成
	8	レポートの検証（60分）
成績評価方法 (試験実施方法)	提出レポートの完成度によって評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Excel基礎	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用方法を習得する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	MOS Excelレベルの操作を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理①
	2	ワークシートやブックの作成と管理②
	3	セルやセル範囲のデータの管理①
	4	セルやセル範囲のデータの管理②
	5	テーブルの作成①
	6	テーブルの作成②
	7	関数を使用するデータの集計①
	8	関数を使用するデータの集計②
	9	関数を使用する条件付き計算①
	10	関数を使用する条件付き計算②
	11	関数を使用した文字列の整形や変更①
	12	関数を使用した文字列の整形や変更②
	13	グラフの作成①
	14	グラフの作成②
	15	グラフの書式設定①
	16	グラフの書式設定②
	17	オブジェクトの挿入や書式設定①
	18	オブジェクトの挿入や書式設定②
	19	模擬テスト①
	20	模擬テスト②
	21	模擬テスト③
	22	模擬テスト④
	23	模擬テスト⑤
	24	模擬テスト⑥
	25	模擬テスト⑦
	26	模擬テスト⑧
	27	模擬テスト⑨
	28	模擬テスト⑩
	29	模擬テスト⑪
	30	模擬テスト⑫
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Power Point基礎	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義および演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら操作力を身につけ、プレゼンテーションを実践する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションの企画
	2	分かりやすいストーリー構成
	3	必要な情報の収集
	4	センスアップするレイアウトデザイン
	5	視覚に訴えるチャート化
	6	訴求力を上げるカラー化
	7	数値をアピールする表・グラフ活用
	8	イメージを伝えるイラスト・写真活用
	9	発表で魅せるアニメーション
	10	自信を高める万全な準備
	11	メッセージが伝わる発表スキル
	12	信頼を得る質疑応答
	13	プレゼンテーション準備
	14	効果測定①
	15	効果測定②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ライフプランニング概論 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	健康保険や公的年金等に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①
	2	ライフプランニングと資金計画②
	3	ライフプランニングと資金計画③
	4	ライフプランニングと資金計画④
	5	ライフプランニングと資金計画⑤
	6	ライフプランニングと資金計画⑥
	7	ライフプランニングと資金計画⑦
	8	ライフプランニングと資金計画⑧
	9	ライフプランニングと資金計画⑨
	10	ライフプランニングと資金計画⑩
	11	ライフプランニングと資金計画⑪
	12	ライフプランニングと資金計画⑫
	13	まとめ 総復習①
	14	まとめ 総復習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	リスク管理概論 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	保険制度に関する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	リスク管理①
	2	リスク管理②
	3	リスク管理③
	4	リスク管理④
	5	リスク管理⑤
	6	リスク管理⑥
	7	リスク管理⑦
	8	リスク管理⑧
	9	リスク管理⑨
	10	リスク管理⑩
	11	リスク管理⑪
	12	リスク管理⑫
	13	まとめ 総復習①
	14	まとめ 総復習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	金融資産運用設計概論 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	金融資産、経済等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	金融資産運用①
	2	金融資産運用②
	3	金融資産運用③
	4	金融資産運用④
	5	金融資産運用⑤
	6	金融資産運用⑥
	7	金融資産運用⑦
	8	金融資産運用⑧
	9	金融資産運用⑨
	10	金融資産運用⑩
	11	金融資産運用⑪
	12	金融資産運用⑫
	13	まとめ 総復習①
	14	まとめ 総復習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	タックスプランニング概論 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	所得税を中心に専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	タックスプランニング①
	2	タックスプランニング②
	3	タックスプランニング③
	4	タックスプランニング④
	5	タックスプランニング⑤
	6	タックスプランニング⑥
	7	タックスプランニング⑦
	8	タックスプランニング⑧
	9	タックスプランニング⑨
	10	タックスプランニング⑩
	11	タックスプランニング⑪
	12	タックスプランニング⑫
	13	まとめ 総復習①
	14	まとめ 総復習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	不動産運用設計概論 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	不動産に関連する法律や規制など専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門用語や法律を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	不動産①
	2	不動産②
	3	不動産③
	4	不動産④
	5	不動産⑤
	6	不動産⑥
	7	不動産⑦
	8	不動産⑧
	9	不動産⑨
	10	不動産⑩
	11	不動産⑪
	12	不動産⑫
	13	まとめ 総復習①
	14	まとめ 総復習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続・事業継承設計概論 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	相続・贈与等に関連する専門的な用語の理解、基本的な計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門用語、専門知識を身につけ、的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	相続・事業継承①
	2	相続・事業継承②
	3	相続・事業承継③
	4	相続・事業承継④
	5	相続・事業承継⑤
	6	相続・事業承継⑥
	7	相続・事業承継⑦
	8	相続・事業承継⑧
	9	相続・事業承継⑨
	10	相続・事業承継⑩
	11	相続・事業承継⑪
	12	相続・事業承継⑫
	13	まとめ 総復習①
	14	まとめ 総復習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	スーツの着こなし
	2	身だしなみ
	3	敬語の使い方
	4	良く聞かれる質疑応答①
	5	良く聞かれる質疑応答②
	6	筆記試験とは（一般常識試験）①
	7	筆記試験とは（一般常識試験）②
	8	筆記試験とは（適性検査試験）①
	9	筆記試験とは（適性検査試験）②
	10	作文の目的・形式と内容①
	11	作文の目的・形式と内容②
	12	作文の実践テクニック①
	13	作文の実践テクニック②
	14	作文の実践テクニック③
	15	作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	業界研究、オンラインセミナー	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	業務理解	
授業の進め方	業界研究をしながら、企業の方から実務に関する説明を受ける	
達成目標	業務理解を深める	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～	業界研究
	15	企業セミナー（5社～6社）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	スーツの着こなし
	2	身だしなみ
	3	敬語の使い方
	4	良く聞かれる質疑応答①
	5	良く聞かれる質疑応答②
	6	筆記試験とは（一般常識試験）①
	7	筆記試験とは（一般常識試験）②
	8	筆記試験とは（適性検査試験）①
	9	筆記試験とは（適性検査試験）②
	10	作文の目的・形式と内容①
	11	作文の目的・形式と内容②
	12	作文の実践テクニック①
	13	作文の実践テクニック②
	14	作文の実践テクニック③
	15	作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	業界研究、オンラインセミナー	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	業務理解	
授業の進め方	業界研究をしながら、企業の方から実務に関する説明を受ける	
達成目標	業務理解を深める	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1～	業界研究
	15	企業セミナー（5社～6社）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス教養 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	電卓技能の向上を目的とする	
教科書	検定対策テキストおよび問題集	
特記		
授業計画	1	電卓の使い方、端数の取り扱い
	2	電卓演習①
	3	電卓演習②
	4	電卓演習③
	5	電卓演習④
	6	電卓演習⑤
	7	電卓演習⑥
	8	電卓演習⑦
	9	電卓演習⑧
	10	電卓演習⑨
	11	電卓演習⑩
	12	電卓演習⑪
	13	電卓演習⑫
	14	電卓演習⑬
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは①
	2	グループディスカッションとは②
	3	グループディスカッションの役割①
	4	グループディスカッションの役割②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション①
	6	抽象テーマ型グループディスカッション②
	7	抽象テーマ型グループディスカッション③
	8	課題解決型グループディスカッション①
	9	課題解決型グループディスカッション②
	10	課題解決型グループディスカッション③
	11	KJ法①
	12	KJ法②
	13	資料読み取り型グループディスカッション①
	14	資料読み取り型グループディスカッション②
	15	資料読み取り型グループディスカッション③
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	時事	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	現代社会における主要な時事の基本用語を理解し、自分の考えや意見を持つための学習	
授業の進め方	テキスト講義により、興味を持って情報収集し自身の意見に反映させる	
達成目標	主要な時事の基本用語が理解し、時事に関する情報収集を行い、考えや意見を伝えることがで	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	時事用語確認①
	2	時事用語確認②
	3	時事用語確認③
	4	時事用語確認④
	5	時事用語確認⑤
	6	時事用語確認⑥
	7	時事用語確認⑦
	8	時事用語確認⑧
	9	時事用語確認⑨
	10	時事用語確認⑩
	11	時事用語確認⑪
	12	時事用語確認⑫
	13	時事用語確認⑬
	14	時事用語確認⑭
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	I Tリテラン			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科2年制			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択B			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報リテラシの基礎を身につける			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	コンピュータシステムの構成①	31	直前答案練習①
	2	コンピュータシステムの構成②	32	直前答案練習②
	3	コンピュータシステムの構成③	33	直前答案練習③
	4	ネットワークテクノロジー①	34	直前答案練習④
	5	ネットワークテクノロジー②	35	直前答案練習⑤
	6	ネットワークテクノロジー③	36	直前答案練習⑥
	7	ネットワークの構築と運用①	37	直前答案練習⑦
	8	ネットワークの構築と運用②	38	直前答案練習⑧
	9	ネットワークの構築と運用③	39	直前答案練習⑨
	10	ネットワークの構築と運用④	40	直前答案練習⑩
	11	情報セキュリティ①	41	直前答案練習⑪
	12	情報セキュリティ②	42	直前答案練習⑫
	13	情報セキュリティ③	43	直前答案練習⑬
	14	情報セキュリティ④	44	直前答案練習⑭
	15	情報セキュリティ⑤	45	直前答案練習⑮
	16	項目別問題演習①		
	17	項目別問題演習②		
	18	項目別問題演習③		
	19	項目別問題演習④		
	20	項目別問題演習⑤		
	21	項目別問題演習⑥		
	22	項目別問題演習⑦		
	23	項目別問題演習⑧		
	24	項目別問題演習⑨		
	25	項目別問題演習⑩		
	26	項目別問題演習⑪		
	27	項目別問題演習⑫		
	28	項目別問題演習⑬		
	29	項目別問題演習⑭		
	30	項目別問題演習⑮		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP基礎			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択B			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	FP3級の基礎を理解し、日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画①	31	タックスプランニング①
	2	ライフプランニングと資金計画②	32	タックスプランニング②
	3	ライフプランニングと資金計画③	33	タックスプランニング③
	4	ライフプランニングと資金計画④	34	タックスプランニング④
	5	ライフプランニングと資金計画⑤	35	タックスプランニング⑤
	6	ライフプランニングと資金計画⑥	36	タックスプランニング⑥
	7	ライフプランニングと資金計画⑦	37	タックスプランニング⑦
	8	ライフプランニングと資金計画⑧	38	タックスプランニング⑧
	9	ライフプランニングと資金計画⑨	39	タックスプランニング⑨
	10	ライフプランニングと資金計画⑩	40	タックスプランニング⑩
	11	ライフプランニングと資金計画⑪	41	タックスプランニング⑪
	12	ライフプランニングと資金計画⑫	42	タックスプランニング⑫
	13	リスク管理①	43	不動産①
	14	リスク管理②	44	不動産②
	15	リスク管理③	45	不動産③
	16	リスク管理④	46	不動産④
	17	リスク管理⑤	47	不動産⑤
	18	リスク管理⑥	48	不動産⑥
	19	リスク管理⑦	49	不動産⑦
	20	リスク管理⑧	50	不動産⑧
	21	リスク管理⑨	51	不動産⑨
	22	金融資産運用①	52	相続・事業承継①
	23	金融資産運用②	53	相続・事業承継②
	24	金融資産運用③	54	相続・事業承継③
	25	金融資産運用④	55	相続・事業承継④
	26	金融資産運用⑤	56	相続・事業承継⑤
	27	金融資産運用⑥	57	相続・事業承継⑥
	28	金融資産運用⑦	58	相続・事業承継⑦
	29	金融資産運用⑧	59	相続・事業承継⑧
	30	金融資産運用⑨	60	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	FP応用	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、知識定着を図る	
達成目標	問題演習によりFP3級の基礎知識を定着させる	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	ライフプランニングと資金計画問題演習①
	2	ライフプランニングと資金計画問題演習②
	3	ライフプランニングと資金計画問題演習③
	4	ライフプランニングと資金計画問題演習④
	5	ライフプランニングと資金計画問題演習⑤
	6	ライフプランニングと資金計画問題演習⑥
	7	リスク管理問題演習①
	8	リスク管理問題演習②
	9	リスク管理問題演習③
	10	リスク管理問題演習④
	11	金融資産運用問題演習①
	12	金融資産運用問題演習②
	13	金融資産運用問題演習③
	14	金融資産運用問題演習④
	15	タックスプランニング問題演習①
	16	タックスプランニング問題演習②
	17	タックスプランニング問題演習③
	18	タックスプランニング問題演習④
	19	タックスプランニング問題演習⑤
	20	タックスプランニング問題演習⑥
	21	不動産問題演習①
	22	不動産問題演習②
	23	不動産問題演習③
	24	不動産問題演習④
	25	不動産問題演習⑤
	26	相続・事業承継問題演習①
	27	相続・事業承継問題演習②
	28	相続・事業承継問題演習③
	29	相続・事業承継問題演習④
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	FP総合			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択B			
授業方法	演習			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	FP3級に合格できるレベルの知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	過去問研究①	31	直前答案練習①
	2	過去問研究②	32	直前答案練習②
	3	過去問研究③	33	直前答案練習③
	4	過去問研究④	34	直前答案練習④
	5	過去問研究⑤	35	直前答案練習⑤
	6	過去問研究⑥	36	直前答案練習⑥
	7	過去問研究⑦	37	直前答案練習⑦
	8	過去問研究⑧	38	直前答案練習⑧
	9	過去問研究⑨	39	直前答案練習⑨
	10	過去問研究⑩	40	直前答案練習⑩
	11	過去問研究⑪	41	直前答案練習⑪
	12	過去問研究⑫	42	直前答案練習⑫
	13	過去問研究⑬	43	直前答案練習⑬
	14	過去問研究⑭	44	直前答案練習⑭
	15	過去問研究⑮	45	直前答案練習⑮
	16	過去問研究⑯		
	17	過去問研究⑰		
	18	過去問研究⑱		
	19	過去問研究⑲		
	20	過去問研究⑳		
	21	過去問研究㉑		
	22	過去問研究㉒		
	23	過去問研究㉓		
	24	過去問研究㉔		
	25	過去問研究㉕		
	26	過去問研究㉖		
	27	過去問研究㉗		
	28	過去問研究㉘		
	29	過去問研究㉙		
	30	過去問研究㉚		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売知識基礎			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択B			
授業方法	講義			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	仕入れ在庫管理・接客マナー・企画立案、マネジメントの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	モノやサービスが売れる仕組みについての知識を身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	販売員の役割①	31	商業集積④
	2	販売員の役割②	32	商業集積⑤
	3	販売員の役割③	33	商業集積⑥
	4	販売員の法廷知識①	34	小売業のマーケティング①
	5	販売員の法廷知識②	35	小売業のマーケティング②
	6	販売員の法廷知識③	36	小売業のマーケティング③
	7	小売業の計数管理①	37	小売業のマーケティング④
	8	小売業の計数管理②	38	小売業のマーケティング⑤
	9	小売業の計数管理③	39	小売業のマーケティング⑥
	10	店舗管理①	40	顧客満足経営①
	11	店舗管理②	41	顧客満足経営②
	12	店舗管理③	42	顧客満足経営③
	13	店舗管理④	43	顧客満足経営④
	14	店舗管理⑤	44	顧客満足経営⑤
	15	店舗管理⑥	45	確認テスト
	16	流通における小売業①		
	17	流通における小売業②		
	18	流通における小売業③		
	19	流通における小売業④		
	20	流通における小売業⑤		
	21	流通における小売業⑥		
	22	組織形態別小売業①		
	23	組織形態別小売業②		
	24	組織形態別小売業③		
	25	店舗形態別小売業①		
	26	店舗形態別小売業②		
	27	店舗形態別小売業③		
	28	商業集積①		
	29	商業集積②		
	30	商業集積③		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売知識応用			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択B			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	小売業について体系的に学び、実務的なビジネスの知識を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	リテールマーケティング検定3級レベルの知識を理解し身につける			
教科書	外販テキスト			
特記				
授業計画	1	証券の設定と出店①	31	商品計画①
	2	証券の設定と出店②	32	商品計画②
	3	証券の設定と出店③	33	商品計画③
	4	リージョナルプロモーション①	34	販売計画及び仕入れ計画①
	5	リージョナルプロモーション②	35	販売計画及び仕入れ計画②
	6	リージョナルプロモーション③	36	販売計画及び仕入れ計画③
	7	顧客志向型売り場づくり①	37	価格設定①
	8	顧客志向型売り場づくり②	38	価格設定②
	9	顧客志向型売り場づくり③	39	価格設定③
	10	ストアオペレーション①	40	在庫管理①
	11	ストアオペレーション②	41	在庫管理②
	12	ストアオペレーション③	42	在庫管理③
	13	ストアオペレーション④	43	販売管理①
	14	ストアオペレーション⑤	44	販売管理②
	15	ストアオペレーション⑥	45	確認テスト
	16	梱包技術①		
	17	梱包技術②		
	18	梱包技術③		
	19	ディスプレイ①		
	20	ディスプレイ②		
	21	ディスプレイ③		
	22	商品①		
	23	商品②		
	24	商品③		
	25	マーチャンダイジング①		
	26	マーチャンダイジング②		
	27	マーチャンダイジング③		
	28	マーチャンダイジング④		
	29	マーチャンダイジング⑤		
	30	マーチャンダイジング⑥		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ライフプランニング概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	総まとめ 問題対策・演習⑮
	16	総まとめ 問題対策・演習⑯
	17	総まとめ 問題対策・演習⑰
	18	総まとめ 問題対策・演習⑱
	19	総まとめ 問題対策・演習⑲
	20	総まとめ 問題対策・演習⑳
	21	総まとめ 問題対策・演習㉑
	22	総まとめ 問題対策・演習㉒
	23	総まとめ 問題対策・演習㉓
	24	総合問題演習①
	25	総合問題演習②
	26	総合問題演習③
	27	総合問題演習④
	28	総合問題演習⑤
	29	総合問題演習⑥
	30	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	リスク管理概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	総まとめ 問題対策・演習⑮
	16	総まとめ 問題対策・演習⑯
	17	総まとめ 問題対策・演習⑰
	18	総まとめ 問題対策・演習⑱
	19	総まとめ 問題対策・演習⑲
	20	総まとめ 問題対策・演習⑳
	21	総まとめ 問題対策・演習㉑
	22	総まとめ 問題対策・演習㉒
	23	総まとめ 問題対策・演習㉓
	24	総合問題演習①
	25	総合問題演習②
	26	総合問題演習③
	27	総合問題演習④
	28	総合問題演習⑤
	29	総合問題演習⑥
	30	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	総まとめ 問題対策・演習⑮
	16	総まとめ 問題対策・演習⑯
	17	総まとめ 問題対策・演習⑰
	18	総まとめ 問題対策・演習⑱
	19	総まとめ 問題対策・演習⑲
	20	総まとめ 問題対策・演習⑳
	21	総まとめ 問題対策・演習㉑
	22	総まとめ 問題対策・演習㉒
	23	総まとめ 問題対策・演習㉓
	24	総合問題演習①
	25	総合問題演習②
	26	総合問題演習③
	27	総合問題演習④
	28	総合問題演習⑤
	29	総合問題演習⑥
	30	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	タックスプランニング概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	総まとめ 問題対策・演習⑮
	16	総まとめ 問題対策・演習⑯
	17	総まとめ 問題対策・演習⑰
	18	総まとめ 問題対策・演習⑱
	19	総まとめ 問題対策・演習⑲
	20	総まとめ 問題対策・演習⑳
	21	総まとめ 問題対策・演習㉑
	22	総まとめ 問題対策・演習㉒
	23	総まとめ 問題対策・演習㉓
	24	総合問題演習①
	25	総合問題演習②
	26	総合問題演習③
	27	総合問題演習④
	28	総合問題演習⑤
	29	総合問題演習⑥
	30	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	不動産運用設計概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	総まとめ 問題対策・演習⑮
	16	総まとめ 問題対策・演習⑯
	17	総まとめ 問題対策・演習⑰
	18	総まとめ 問題対策・演習⑱
	19	総まとめ 問題対策・演習⑲
	20	総まとめ 問題対策・演習⑳
	21	総まとめ 問題対策・演習㉑
	22	総まとめ 問題対策・演習㉒
	23	総まとめ 問題対策・演習㉓
	24	総合問題演習①
	25	総合問題演習②
	26	総合問題演習③
	27	総合問題演習④
	28	総合問題演習⑤
	29	総合問題演習⑥
	30	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	専門的な用語を理解し使い分け、状況に応じた計算方法（実技科目）を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ライフプランニング概論Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門的な用語を理解し、状況に応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	リスク管理概論Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	保険全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	金融資産運用設計概論Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	金融資産運用に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	タックスプランニング概論Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	税全般に関する仕組みや、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門的な用語を理解し、状況に応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	不動産運用設計概論Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	不動産に関する法律や専門用語、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門的な用語を理解し、状況に応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	相続・事業継承設計概論Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	相続・贈与等に関連する用語の理解、状況に応じた各種金額の計算方法を学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	専門的な用語を理解し、状況の応じた的確な解法で問題を解き、答えを導き出す	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	総まとめ 問題対策・演習①
	2	総まとめ 問題対策・演習②
	3	総まとめ 問題対策・演習③
	4	総まとめ 問題対策・演習④
	5	総まとめ 問題対策・演習⑤
	6	総まとめ 問題対策・演習⑥
	7	総まとめ 問題対策・演習⑦
	8	総まとめ 問題対策・演習⑧
	9	総まとめ 問題対策・演習⑨
	10	総まとめ 問題対策・演習⑩
	11	総まとめ 問題対策・演習⑪
	12	総まとめ 問題対策・演習⑫
	13	総まとめ 問題対策・演習⑬
	14	総まとめ 問題対策・演習⑭
	15	模擬試験
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	金融市場政策論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	金融の役割①
	2	金融の役割②
	3	金融の役割③
	4	各種金融市場①
	5	各種金融市場②
	6	各種金融市場③
	7	中央銀行の役割①
	8	中央銀行の役割②
	9	中央銀行の役割③
	10	中央銀行の役割④
	11	中央銀行の役割⑤
	12	中央銀行の役割⑥
	13	世界の中央銀行
	14	総まとめ
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経営常識	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	日常生活や仕事に役立つ用語、事例学習による知識の習得	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	国際社会に関する基礎用語
	2	国際社会に関する事例学習①
	3	国際社会に関する事例学習②
	4	経済に関する基礎用語
	5	経済に関する事例学習
	6	労働環境に関する基礎用語
	7	労働環境に関する事例学習
	8	経営に関する基礎用語
	9	経営に関する事例学習①
	10	経営に関する事例学習②
	11	I T社会に関する基礎用語
	12	I T社会に関する事例学習①
	13	I T社会に関する事例学習②
	14	A Iに関する基礎用語
	15	A Iに関する事例学習
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	ITパスポート基礎			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択B			
授業方法	講義			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する			
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る			
達成目標	社会人として必要な情報技術の専門用語の習得を目的とする			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	企業活動①	31	ソフトウェア①
	2	企業活動②	32	ソフトウェア②
	3	法務①	33	ハードウェア
	4	法務②	34	ヒューマンインターフェース
	5	経営戦略マネジメント①	35	マルチメディア
	6	経営戦略マネジメント②	36	データベース①
	7	技術戦略マネジメント①	37	データベース②
	8	技術戦略マネジメント②	38	データベース③
	9	ビジネスインダストリ①	39	ネットワーク①
	10	ビジネスインダストリ②	40	ネットワーク②
	11	システム戦略①	41	ネットワーク③
	12	システム戦略②	42	セキュリティ①
	13	システム企画①	43	セキュリティ②
	14	システム企画②	44	セキュリティ③
	15	システム開発技術①	45	確認テスト
	16	システム開発技術②		
	17	ソフトウェア開発管理技術①		
	18	ソフトウェア開発管理技術②		
	19	プロジェクトマネジメント		
	20	サービスマネジメント①		
	21	サービスマネジメント②		
	22	システム監査①		
	23	システム監査②		
	24	基礎理論①		
	25	基礎理論②		
	26	アルゴリズムとプログラミング①		
	27	アルゴリズムとプログラミング②		
	28	コンピュータ構成要素①		
	29	コンピュータ構成要素②		
	30	システム構成要素		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート・リテラシ演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と復習演習を行い、知識定着を図る	
達成目標	基本的な情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITリテラシ演習①
	2	ITリテラシ演習②
	3	ITリテラシ演習③
	4	ITリテラシ演習④
	5	ITリテラシ演習⑤
	6	ITリテラシ演習⑥
	7	ITリテラシ演習⑦
	8	ITパスポート演習①
	9	ITパスポート演習②
	10	ITパスポート演習③
	11	ITパスポート演習④
	12	ITパスポート演習⑤
	13	ITパスポート演習⑥
	14	ITパスポート演習⑦
	15	ITパスポート演習⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ITパスポート応用	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え方をを問題演習を通じて学ぶ	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	ITパスポートレベルの情報技術知識の習得を目的とする	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ITパスポート総まとめ①
	2	ITパスポート総まとめ②
	3	ITパスポート総まとめ③
	4	ITパスポート総まとめ④
	5	ITパスポート総まとめ⑤
	6	ITパスポート総まとめ⑥
	7	ITパスポート総まとめ⑦
	8	ITパスポート総まとめ⑧
	9	ITパスポート総まとめ⑨
	10	ITパスポート総まとめ⑩
	11	ITパスポート総まとめ⑪
	12	ITパスポート総まとめ⑫
	13	ITパスポート総まとめ⑬
	14	ITパスポート総まとめ⑭
	15	ITパスポート総まとめ⑮
	16	ITパスポート総合問題対策①
	17	ITパスポート総合問題対策②
	18	ITパスポート総合問題対策③
	19	ITパスポート総合問題対策④
	20	ITパスポート総合問題対策⑤
	21	ITパスポート総合問題対策⑥
	22	ITパスポート総合問題対策⑦
	23	ITパスポート総合問題対策⑧
	24	ITパスポート総合問題対策⑨
	25	ITパスポート総合問題対策⑩
	26	ITパスポート総合問題対策⑪
	27	ITパスポート総合問題対策⑫
	28	ITパスポート総合問題対策⑬
	29	ITパスポート総合問題対策⑭
	30	ITパスポート総合問題対策⑮
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	パソコン実習Ⅴ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択B			
授業方法	実習			
授業時間	180時間			
授業回数	90回			
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	Word：MOS Word2016またはWord2016エキスパートの合格を目指す			
教科書	問題集			
特記				
授業計画	1～4	模擬テスト1 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	66	模擬テスト3 練習・本番モードの振り返り
	5～7	模擬テスト1 本番モードの練習・テスト・振り返り	67	模擬テスト4 練習モードの実践
	8～11	模擬テスト2 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	68	模擬テスト4 本番モードのテスト
	12～14	模擬テスト2 本番モードの練習・テスト・振り返り	69	模擬テスト4 練習・本番モードの振り返り
	15～18	模擬テスト3 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	70	模擬テスト5 練習モードの実践
	19～21	模擬テスト3 本番モードの練習・テスト・振り返り	71	模擬テスト5 本番モードのテスト
	22～25	模擬テスト4 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	72	模擬テスト5 練習・本番モードの振り返り
	26～28	模擬テスト4 本番モードの練習・テスト・振り返り	73	実力判定テストの実施
	29～32	模擬テスト5 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	74	模擬テスト1 本番モードのテスト
	33～35	模擬テスト5 本番モードの練習・テスト・振り返り	75	模擬テスト2 本番モードのテスト
	36	実力判定テストの実施	76	模擬テスト3 本番モードのテスト
	37～38	模擬テスト1 練習モードの実践・振り返り	77	模擬テスト4 本番モードのテスト
	39～40	模擬テスト1 本番モードのテスト・振り返り	78	模擬テスト5 本番モードのテスト
	41～42	模擬テスト2 練習モードの実践・振り返り	79	実力判定テストの実施
	43～44	模擬テスト2 本番モードのテスト・振り返り	80	模擬テスト1 本番モードのテスト
	45～46	模擬テスト3 練習モードの実践・振り返り	81	模擬テスト2 本番モードのテスト
	47～48	模擬テスト3 本番モードのテスト・振り返り	82	模擬テスト3 本番モードのテスト
	49～50	模擬テスト4 練習モードの実践・振り返り	83	模擬テスト4 本番モードのテスト
	51～52	模擬テスト4 本番モードのテスト・振り返り	84	模擬テスト5 本番モードのテスト
	53～54	模擬テスト5 練習モードの実践・振り返り	85	実力判定テストの実施
	55～56	模擬テスト5 本番モードのテスト・振り返り	86～90	演習・復習日
	57	実力判定テストの実施		
	58	模擬テスト1 練習モードの実践		
	59	模擬テスト1 本番モードのテスト		
	60	模擬テスト1 練習・本番モードの振り返り		
	61	模擬テスト2 練習モードの実践		
	62	模擬テスト2 本番モードのテスト		
	63	模擬テスト2 練習・本番モードの振り返り		
	64	模擬テスト3 練習モードの実践		
	65	模擬テスト3 本番モードのテスト		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容				
授業科目	パソコン実習VI				
実務家教員	○				
学部・学科	法律行政学科2年制				
履修年次	2年次				
開講区分	通年				
科目区分	選択B				
授業方法	実習				
授業時間	180時間				
授業回数	90回				
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける				
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る				
達成目標	Excel：MOS Excel2016またはExcel2016エキスパートの合格を目指す				
教科書	問題集				
特記					
授業計画	1～4	模擬テスト1 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	66	模擬テスト3 練習・本番モードの振り返り	
	5～7	模擬テスト1 本番モードの練習・テスト・振り返り	67	模擬テスト4 練習モードの実践	
	8～11	模擬テスト2 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	68	模擬テスト4 本番モードのテスト	
	12～14	模擬テスト2 本番モードの練習・テスト・振り返り	69	模擬テスト4 練習・本番モードの振り返り	
	15～18	模擬テスト3 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	70	模擬テスト5 練習モードの実践	
	19～21	模擬テスト3 本番モードの練習・テスト・振り返り	71	模擬テスト5 本番モードのテスト	
	22～25	模擬テスト4 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	72	模擬テスト5 練習・本番モードの振り返り	
	26～28	模擬テスト4 本番モードの練習・テスト・振り返り	73	実力判定テストの実施	
	29～32	模擬テスト5 練習モードの説明・練習・実践・振り返り	74	模擬テスト1 本番モードのテスト	
	33～35	模擬テスト5 本番モードの練習・テスト・振り返り	75	模擬テスト2 本番モードのテスト	
	36	実力判定テストの実施	76	模擬テスト3 本番モードのテスト	
	37・38	模擬テスト1 練習モードの実践・振り返り	77	模擬テスト4 本番モードのテスト	
	39・40	模擬テスト1 本番モードのテスト・振り返り	78	模擬テスト5 本番モードのテスト	
	41・42	模擬テスト2 練習モードの実践・振り返り	79	実力判定テストの実施	
	43・44	模擬テスト2 本番モードのテスト・振り返り	80	模擬テスト1 本番モードのテスト	
	45・46	模擬テスト3 練習モードの実践・振り返り	81	模擬テスト2 本番モードのテスト	
	47・48	模擬テスト3 本番モードのテスト・振り返り	82	模擬テスト3 本番モードのテスト	
	49・50	模擬テスト4 練習モードの実践・振り返り	83	模擬テスト4 本番モードのテスト	
	51・52	模擬テスト4 本番モードのテスト・振り返り	84	模擬テスト5 本番モードのテスト	
	53・54	模擬テスト5 練習モードの実践・振り返り	85	実力判定テストの実施	
	55・56	模擬テスト5 本番モードのテスト・振り返り	86～90	演習・復習日	
	57	実力判定テストの実施			
	58	模擬テスト1 練習モードの実践			
	59	模擬テスト1 本番モードのテスト			
	60	模擬テスト1 練習・本番モードの振り返り			
	61	模擬テスト2 練習モードの実践			
	62	模擬テスト2 本番モードのテスト			
	63	模擬テスト2 練習・本番モードの振り返り			
	64	模擬テスト3 練習モードの実践			
	65	模擬テスト3 本番モードのテスト			
	成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
	備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	パソコン実習Ⅶ			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	通年			
科目区分	選択B			
授業方法	実習			
授業時間	120時間			
授業回数	60回			
授業概要	反復練習と効果測定により、MOS試験の合格に必要な知識とスキルを身に着ける			
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る			
達成目標	PowerPoint : MOS PowerPoint2016またはPowerPoint2016エキスパートの合格を目指す			
教科書	問題集			
特記				
授業計画	1	模擬テスト1 練習モードの説明	31	模擬テスト5 練習モードの実践
	2	模擬テスト1 練習モードの練習	32	模擬テスト5 練習モードの振返り
	3	模擬テスト1 練習モードの実践	33	模擬テスト5 本番モードの練習
	4	模擬テスト1 練習モードの振返り	34	模擬テスト5 本番モードのテスト
	5	模擬テスト1 本番モードの練習	35	模擬テスト5 本番モードの振返り
	6	模擬テスト1 本番モードのテスト	36	実力判定テストの実施
	7	模擬テスト1 本番モードの振返り	37	模擬テスト1 練習モードの実践
	8	模擬テスト2 練習モードの説明	38	模擬テスト1 練習モードの振返り
	9	模擬テスト2 練習モードの練習	39	模擬テスト1 本番モードのテスト
	10	模擬テスト2 練習モードの実践	40	模擬テスト1 本番モードの振返り
	11	模擬テスト2 練習モードの振返り	41	模擬テスト2 練習モードの実践
	12	模擬テスト2 本番モードの練習	42	模擬テスト2 練習モードの振返り
	13	模擬テスト2 本番モードのテスト	43	模擬テスト2 本番モードのテスト
	14	模擬テスト2 本番モードの振返り	44	模擬テスト2 本番モードの振返り
	15	模擬テスト3 練習モードの説明	45	模擬テスト3 練習モードの実践
	16	模擬テスト3 練習モードの練習	46	模擬テスト3 練習モードの振返り
	17	模擬テスト3 練習モードの実践	47	模擬テスト3 本番モードのテスト
	18	模擬テスト3 練習モードの振返り	48	模擬テスト3 本番モードの振返り
	19	模擬テスト3 本番モードの練習	49	模擬テスト4 練習モードの実践
	20	模擬テスト3 本番モードのテスト	50	模擬テスト4 練習モードの振返り
	21	模擬テスト3 本番モードの振返り	51	模擬テスト4 本番モードのテスト
	22	模擬テスト4 練習モードの説明	52	模擬テスト4 本番モードの振返り
	23	模擬テスト4 練習モードの練習	53	模擬テスト5 練習モードの実践
	24	模擬テスト4 練習モードの実践	54	模擬テスト5 練習モードの振返り
	25	模擬テスト4 練習モードの振返り	55	模擬テスト5 本番モードのテスト
	26	模擬テスト4 本番モードの練習	56	模擬テスト5 本番モードの振返り
	27	模擬テスト4 本番モードのテスト	57	実力判定テストの実施
	28	模擬テスト4 本番モードの振返り	58	演習・復習日
	29	模擬テスト5 練習モードの説明	59	演習・復習日
	30	模擬テスト5 練習モードの練習	60	演習・復習日
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Excel応用	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	MOS Excelエキスパートレベルの知識・操作に関する総合的な学習	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	Excelの主な機能を利用して、複数のシートを含むブックの作成・編集、データの抽出や並べ替え、数式の作成、関数の使用、グラフを利用したデータの視覚的表現、印刷設定など、さまざまな目的や状況に応じて数値データを扱うことができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	ワークシートやブックの作成と管理
	2	セルやセル範囲のデータの管理
	3	テーブルの作成
	4	テーブルの作成
	5	関数を使用するデータの集計①
	6	関数を使用するデータの集計②
	7	関数を使用する条件付き計算①
	8	関数を使用する条件付き計算②
	9	関数を使用する条件付き計算③
	10	関数を使用した文字列の整形や変更①
	11	関数を使用した文字列の整形や変更②
	12	グラフの作成①
	13	グラフの作成②
	14	グラフの書式設定
	15	オブジェクトの挿入や書式設定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Power Point応用	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにPowerPointの応用的な操作を習得する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	MOS PowerPointレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	表の挿入、設定
	2	グラフの挿入、書式設定①
	3	グラフの挿入、書式設定②
	4	SmartArtの挿入、書式設定①
	5	SmartArtの挿入、書式設定②
	6	メディアの挿入、管理①
	7	メディアの挿入、管理②
	8	画面切り替えの設定①
	9	画面切り替えの設定②
	10	アニメーションの設定①
	11	アニメーションの設定②
	12	複数のコンテンツの結合①
	13	複数のコンテンツの結合②
	14	プレゼンテーションの保護、共有①
	15	プレゼンテーションの保護、共有②
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理キャリアデザイン I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	経理職内定へ向けた身だしなみ、敬語、筆記試験について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	経理職内定へ向けた一般的に必要な知識を身に付ける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	経理職に適したスーツの着こなし
	2	経理職に適した身だしなみ
	3	敬語の使い方
	4	経理職で良く聞かれる質疑応答①
	5	経理職で良く聞かれる質疑応答②
	6	筆記試験とは（一般常識試験）①
	7	筆記試験とは（一般常識試験）②
	8	筆記試験とは（適性検査試験）①
	9	筆記試験とは（適性検査試験）②
	10	作文の目的・形式と内容①
	11	作文の目的・形式と内容②
	12	作文の実践テクニック①
	13	作文の実践テクニック②
	14	作文の実践テクニック③
	15	作文の実践テクニック④
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理キャリアデザインⅡ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	経理職内定へ向けた職種研究方法について学ぶ	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	経理職内定へ向けた志望理由を作れるようになる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	仕事選びの基準
	2	求人票からの情報収集
	3	会社四季報、新聞からの情報収集①
	4	会社四季報、新聞からの情報収集②
	5	総合職と一般職
	6	経理職職種研究①
	7	経理職職種研究②
	8	経理職職種研究③
	9	経理職職種研究④
	10	経理職職種研究⑤
	11	経理職への志望理由①
	12	経理職への志望理由②
	13	経理職への志望理由③
	14	経理職への志望理由④
	15	経理職への志望理由⑤
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	応対の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	電話対応のマナー
	2	電話の受け方の基本
	3	電話の受け方～道案内～
	4～6	演習
	7	電話のかけ方
	8～13	演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインⅤ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	状況別の電話応対
	2	状況別の応対方法
	3～5	演習
	6～8	電話応対練習①
	9	伝言の受け方
	10～12	演習
	13	電話応対練習②
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	応対の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅣ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	接客販売の心得
	2	お客様の心理理解
	3	接客用語
	4	状況別の店内接客
	5	状況別の店内接客
	6	演習
	7	演習
	8	電話対応での問い合わせ
	9	演習
	10	演習
	11	総合演習
	12	総合演習
	13	総合演習
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインⅤ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	営業職のマナー①
	2	営業職のマナー②
	3	訪問のマナー①
	4	訪問のマナー②
	5	演習
	6	演習
	7	商談の進め方①
	8	商談の進め方②
	9	演習
	10	演習
	11	総合演習
	12	総合演習
	13	総合演習
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション概論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身につける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループワークとは
	2	企画立案の流れ
	3	企画立案①
	4	企画立案②
	5	企画立案③
	6	企画立案④
	7	企画立案⑤
	8	企画書作成①
	9	企画書作成②
	10	企画書作成③
	11	プレゼン準備①
	12	プレゼン準備②
	13	プレゼン準備③
	14	発表①
	15	発表②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	コミュニケーション実践	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	グループワークの手法について基礎的な知識を身に付ける	
教科書	配布プリント・資料	
特記		
授業計画	1	グループディスカッションとは
	2	グループディスカッションの役割
	3	抽象テーマ型グループディスカッション①
	4	抽象テーマ型グループディスカッション②
	5	抽象テーマ型グループディスカッション③
	6	課題解決型グループディスカッション①
	7	課題解決型グループディスカッション②
	8	課題解決型グループディスカッション③
	9	資料読み取り型グループディスカッション①
	10	資料読み取り型グループディスカッション②
	11	資料読み取り型グループディスカッション③
	12	フェルミ推定
	13	KJ法
	14	その他特殊型①
	15	その他特殊型②
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word基礎	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	テキストを確認しながら練習問題を解くことが出来る操作力を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	文章の作成と管理①
	2	文章の作成と管理②
	3	文章の作成と管理③
	4	文章の作成と管理④
	5	文字、段落、セクションの書式設定①
	6	文字、段落、セクションの書式設定②
	7	文字、段落、セクションの書式設定③
	8	表やリストの作成①
	9	表やリストの作成②
	10	表やリストの作成③
	11	参考資料の作成と管理①
	12	参考資料の作成と管理②
	13	グラフィック要素の挿入と書式設定①
	14	グラフィック要素の挿入と書式設定②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	Word応用	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	PCの基礎操作並びにWordの応用的な操作を習得する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	MOS Wordレベルの操作を習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	オプションと設定
	2	文書の管理 1
	3	文書の管理 2
	4	高度な書式設定 1
	5	高度な書式設定 2
	6	参考資料作成・管理 1
	7	参考資料作成・管理 2
	8	フォーム、フィールド、差し込み印刷 1
	9	フォーム、フィールド、差し込み印刷 2
	10	マクロの作成 1
	11	マクロの作成 2
	12	ユーザー設定機能
	13	実技演習 1
	14	実技演習 2
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	接遇ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	企業内で必要とされる接遇に関する基本的なルールの学習をする	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	企業内での接遇に関する基本的な所作を演習し、習得する	
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ	
特記		
授業計画	1	接遇マナーとは
	2	接遇の心構え
	3	お茶の入れ方、出し方
	4	お見送り
	5	後片付け
	6~7	接遇の流れ
	8~13	演習
	14~15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅱ	
実務家教員	○	
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識及びスキルの定着を図る	
達成目標	Excelの実践的なテクニックを習得することで、業務の時短に繋がる仕事術を身につける	
教科書	外販テキスト	
特記	実務経験者(IT企業勤務)による講義を基にした講義演習	
授業計画	1	データの整理・集計①
	2	データの整理・集計②
	3	データの整理・集計③
	4	表の作成①
	5	表の作成②
	6	表の作成③
	7	グラフの作成・修正①
	8	グラフの作成・修正②
	9	グラフの作成・修正③
	10	印刷操作①
	11	印刷操作②
	12	印刷操作③
	13	実例演習①
	14	実例演習②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と確認テストにより、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	様々な文書作成スキルや実用的なスキルを身につける	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	Word文書の作成①
	2	Word文書の作成②
	3	Word文書の作成③
	4	Word文書の作成④
	5	Word文書の作成⑤
	6	Excel文書の作成①
	7	Excel文書の作成②
	8	Excel文書の作成③
	9	Excel文書の作成④
	10	Excel文書の作成⑤
	11	Excel文書の作成⑥
	12	Excel文書の作成⑦
	13	Word&Excel混在文書の作成①
	14	Word&Excel混在文書の作成②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	パソコン実習Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	Word：応用的な機能を活用し、効率的に正確なビジネス文書を作成するスキル習得のための実習 Excel：複雑なデータ集計を行うことやマクロ機能を用い、より効率的に編集を行うスキル習得のための実習	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	Word：アウトライン機能や校閲機能を用い、効率的に正確なビジネス文章を作成することができる Excel：ピボットテーブルを使用して複雑なデータ集計を行うことができ、かつ、マクロ機能を使用して自動処理化することができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	文書の作成と管理①
	2	文書の作成と管理②
	3	文書の作成と管理③
	4	データベース機能の利用①
	5	データベース機能の利用②
	6	データベース機能の利用③
	7	データの抽出①
	8	データの抽出②
	9	データの抽出③
	10	ピボットテーブル①
	11	ピボットテーブル②
	12	ピボットテーブル③
	13	マクロによる作業の自動化①
	14	マクロによる作業の自動化②
	15	マクロによる作業の自動化③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務職ビジネスマナー	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	ビジネス電話対応、接遇に関する実践的な学習をする	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	電話対応、接遇に関する実践的な演習をし、習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	社内におけるビジネス電話対応①
	2	社内におけるビジネス電話対応②
	3	社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー①
	4	社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー②
	5	社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー③
	6	社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー④
	7	社内における電話対応、受付、接遇などの総合マナー⑤
	8	効果測定
	9	キャリア講演会 1
	10	キャリア講演会 2
	11	キャリア講演会 3
	12	キャリア講演会 4
	13	キャリア講演会 5
	14	キャリア講演会 6
	15	キャリア講演会 7
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理実務	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するための講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	経理実務の年間業務スケジュールと業務内容の理解ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	経理・総務の年間カリキュラム
	2	小切手・手形の実務上のポイント
	3	入出金伝票と現金出納帳
	4	当座預金出納帳と手形記入帳
	5	交際費、福利厚生費及び会議費用の区分
	6	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理①
	7	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理②
	8	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理③
	9	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理④
	10	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑤
	11	健康保険、厚生年金保険の概要及び会計処理⑥
	12	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務①
	13	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務②
	14	源泉所得税（給与）の徴収・納付事務③
	15	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）①
	16	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）②
	17	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（基礎）③
	18	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）①
	19	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）②
	20	源泉所得税（報酬）の徴収・納付事務（応用）③
	21	個人住民税の徴収及び納付①
	22	個人住民税の徴収及び納付②
	23	印紙税の基礎知識
	24	受取利息の会計処理
	25	消費税法の概要①
	26	消費税法の概要②
	27	消費税の会計処理
	28	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）①
	29	原則的な日々の記帳から決算までの流れ（記帳入門）②
	30	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	給与計算実務	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	所得税・住民税額を算定し、年末調整事務で必要となる所得税源泉徴収簿の記入ができる	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	所得税の基礎知識①
	2	所得税の基礎知識②
	3	所得税の基礎知識③
	4	年末調整のしかた①
	5	年末調整のしかた②
	6	年末調整のしかた③
	7	法定調書の流れ①
	8	法定調書の流れ②
	9	法定調書の流れ③
	10	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出①
	11	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出②
	12	個人住民税の特別徴収のための給与支払報告書の提出③
	13	労働保険の概要及び会計処理①
	14	労働保険の概要及び会計処理②
	15	確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	財務会計			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択B			
授業方法	講義及び演習			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度を理解するための講義			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身につく」へステップアップを図る			
達成目標	財務会計の意義や制度を深く理解し、財務諸表の作成及び会計情報を提供・活用できる			
教科書	オリジナルテキスト			
特記				
授業計画	1	外貨建会計①	31	消費税法⑥
	2	外貨建会計②	32	消費税法⑦
	3	外貨建会計③	33	消費税法⑧
	4	外貨建会計④	34	消費税法⑨
	5	リース取引①	35	消費税法⑩
	6	リース取引②	36	法人税法①
	7	リース取引③	37	法人税法②
	8	リース取引④	38	法人税法③
	9	キャッシュ・フロー計算書①	39	法人税法④
	10	キャッシュ・フロー計算書②	40	法人税法⑤
	11	キャッシュ・フロー計算書③	41	法人税法⑥
	12	キャッシュ・フロー計算書④	42	法人税法⑦
	13	キャッシュ・フロー計算書⑤	43	法人税法⑧
	14	キャッシュ・フロー計算書⑥	44	法人税法⑨
	15	税効果会計①	45	確認テスト
	16	税効果会計②		
	17	税効果会計③		
	18	税効果会計④		
	19	税効果会計⑤		
	20	税効果会計⑥		
	21	退職給付会計①		
	22	退職給付会計②		
	23	退職給付会計③		
	24	退職給付会計④		
	25	退職給付会計⑤		
	26	消費税法①		
	27	消費税法②		
	28	消費税法③		
	29	消費税法④		
	30	消費税法⑤		
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	販売仕入管理	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30 時間	
授業回数	15 回	
授業概要	販売、仕入に関する店舗運営上の管理業務に関する知識を習得する講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	販売、仕入の事務手続きについて流れを理解し、証憑書類の記入や代金決済状況の管理ができる	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	売上事務の流れ
	2	納品書の作成と売上計上①
	3	納品書の作成と売上計上②
	4	請求書の作成と代金回収管理①
	5	請求書の作成と代金回収管理②
	6	請求書の作成と代金回収管理③
	7	複数の得意先との取引①
	8	複数の得意先との取引②
	9	複数の得意先との取引③
	10	仕入事務の流れ
	11	仕入管理の記帳①
	12	仕入管理の記帳②
	13	仕入代金の支払いと買掛金管理①
	14	仕入代金の支払いと買掛金管理②
	15	仕入代金の支払いと買掛金管理③
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経理キャリアデザインⅢ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	挨拶の種類・笑顔、お辞儀
	2	正しい敬語の使い方
	3	状況に応じた言葉遣い
	4・5	演習
	6・7	効果測定
	8	応対の基本
	9	名刺交換
	10・11	演習
	12・13	総合演習
	14・15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	事務キャリアデザインVI	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	状況別オフィスワーク
	2	総合ロールプレイング
	3	総合ロールプレイング
	4	総合ロールプレイング
	5	総合ロールプレイング
	6	総合ロールプレイング
	7	総合ロールプレイング
	8	総合ロールプレイング
	9	総合ロールプレイング
	10	総合ロールプレイング
	11	総合ロールプレイング
	12	総合ロールプレイング
	13	効果測定
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	流通キャリアデザインVI	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける為の学習	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	社会環境を理解し、課題をクリアする力を身につける	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	商品説明知識
	2	好感を持たれる商品説明
	3	演習
	4	演習
	5	クレームとは
	6	電話でのクレーム対応方法
	7	演習
	8	演習
	9	店内でのクレーム対応方法
	10	演習
	11	演習
	12	総合演習
	13	総合演習
	14	効果測定
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英会話入門	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	
授業の進め方	反復練習と効果測定により、確実な知識とスキルの定着を図る	
達成目標	日常生活での簡単な英会話を習得する	
教科書	外販テキスト	
特記		
授業計画	1	自己紹介など①
	2	自己紹介など②
	3	趣味など①
	4	趣味など②
	5	健康や習慣など①
	6	健康や習慣など②
	7	場所と道案内など①
	8	場所と道案内など②
	9	説明の仕方など①
	10	説明の仕方など②
	11	目標や夢など①
	12	目標や夢など②
	13	演習①
	14	演習②
	15	効果測定
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 筆記・実技による効果測定	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（英会話基礎）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	外国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	基本的な英会話の習得	
教科書	オリジナルテキスト	
特記		
授業計画	1	英語基礎①
	2	Self Introductions
	3	Basic Conversation and Responses
	4	英語基礎②
	5	Everyday Conversation
	6	Expressing Feelings
	7	英語基礎③
	8	Emotions, Reactions, and Wh- Questions
	9	Daily Life
	10	英語基礎④
	11	Daily Life 2: Hospitality
	12	Daily Life 3: Telephoning
	13	英語基礎⑤
	14	Responding to Foreign Visitors
	15	Review
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	言語知識（中国語）Ⅰ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	中国人ネイティブ講師による講義	
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る	
達成目標	学習者の中国語への興味を深める上、中国や中国語についての知識を広げ、今後本格的な中国語学習のきっかけを作る。	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	中国語発音の基礎(1) 四つの声調・六つの基本母音・複合母音
	2	中国語発音の基礎(2) 21の子音・鼻音・声調変化
	3	中国語発音の基礎(3) 声調と変調・r化現象・発音のおさらい
	4	簡単な日常挨拶(1) 人称代名詞・単数と複数・基本的語順・疑問語「吗」について
	5	簡単な日常挨拶(2) 基本的語順（是or動詞を述語とする場合）・丁寧語について
	6	数字を覚えよう 年,月,日,曜日の言い方・所属を表す「的」・疑問視「什么」
	7	数字の活用 こんな時「是」は省略される・金額の言い方・否定を表す「不」時刻と時間の長さの言い方・副詞「也」・疑問詞「怎么样」
	8	存在・所有の表現 動詞「有」・否定「没有」・「什么」+名詞
	9	場所の表現 場所指示代名詞「这里」「那里」「哪里」・前置詞構造「在」
	10	買い物をする/値段を聞く&値段交渉する 人民元の教え方・能願動詞「要」「能」「会」「可以」・語気助詞「了」
	11	乗り換えと両替 「必要・なければならぬ」を表す「要」・完了を表す「了」・動詞重ね型「看々」
	12	電話をする→「是~的」の構文・結果補語 約束する→ある経験を表す文型「動詞+过~」・まだ~していない「还没(有)~」
	13	確認する→もうすぐ~「要~了」・前置詞「从」「离」・選択疑問文「~、还是~」
	14	お客さんの出迎え&歓迎会 連体修飾語としての動詞、動詞構造、主述構造・程度補語「得」
	15	別れを告げる&総復習 仮説を表す「~的话」,「要是~就~」・これまで習ってきた内容を総復習する
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容
授業科目	言語知識（韓国語）Ⅰ
実務家教員	
学部・学科	法律行政学科2年制
履修年次	2年次
開講区分	後期
科目区分	選択B
授業方法	講義
授業時間	30時間
授業回数	15回
授業概要	韓国人ネイティブ講師による講義
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る
達成目標	1. 読み書きができる。 2. 以下の簡単な会話ができる ①挨拶&自己紹介 ②買い物でのやりとり ③店での注文 ④道などを尋ねる
教科書	テキスト及び参考書
特記	
授業計画	1 オリエンテーション；韓国語に関する豆知識 基本母音
	2 基本子音①説明&子音「K」 復習と会話
	3 小テスト 基本子音②-「N」&「T」&「R」 基本子音③-「M」&「P」&「S」
	4 復習と会話 基本子音④-「J」&「H」+まとめ
	5 小テスト 激音①-「Ch」&「Kh」 復習と会話
	6 激音②-「Th」&「Ph」+まとめ 濃音①-「KK」&「TT」&「PP」
	7 小テスト 復習と会話 濃音②-「SS」&「JJ」+まとめ
	8 パッチム① [P20の説明、P23N] 復習と会話
	9 小テスト パッチム② [P20K、P21B] パッチム③ [P22M、P21NG]
	10 復習と会話 パッチム④ [P23L、P22T] +まとめ
	11 小テスト 合成母音① [P25&26の説明] 復習と会話
	12 合成母音② [P27、28] <1課>私は日本人です。
	13 小テスト 宿題チェック <1課>私は日本人です。
	14 まとめ <1課>宿題チェック/総復習
	15 最終到達度確認テスト
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト
備考	

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング概論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義及び演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1	マーケティングと顧客満足
	2	マーケティング分析方法①
	3	マーケティング分析方法②
	4	マーケティングと財務知識①
	5	マーケティングと財務知識②
	6	マーケティングと財務知識③
	7	マーケティングと財務知識④
	8	マーケティング手法①
	9	マーケティング手法②
	10	確認テスト
	11	事例から学ぶマーケティング①
	12	事例から学ぶマーケティング②
	13	事例から学ぶマーケティング③
	14	事例から学ぶマーケティング④
	15	事例から学ぶマーケティング⑤
	16	事例から学ぶマーケティング⑥
	17	事例から学ぶマーケティング⑦
	18	事例から学ぶマーケティング⑧
	19	事例から学ぶマーケティング⑨
	20	事例から学ぶマーケティング⑩
	21	マーケティング演習①
	22	マーケティング演習②
	23	マーケティング演習③
	24	マーケティング演習④
	25	マーケティング演習⑤
	26	マーケティング演習⑥
	27	マーケティング演習⑦
	28	マーケティング演習⑧
	29	マーケティング演習⑨
	30	マーケティング演習⑩
成績評価方法 (試験実施方法)	授業内試験100% 講義後のチェックテストの解答状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング概要	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	マーケティングの必要性と目的を学習する	
授業の進め方	テキストによる講義と問題演習により、知識の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を体系的に習得する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	顧客満足①
	2	顧客満足②
	3	マーケティングの必要性①
	4	マーケティングの必要性②
	5	情報収集と分析①
	6	情報収集と分析②
	7	流通チャネル①
	8	流通チャネル②
	9	プロモーション①
	10	プロモーション②
	11	財務知識①
	12	財務知識②
	13	事例研究①
	14	事例研究②
	15	確認テスト①
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	マーケティング基礎	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	事例研究を通じてマーケティングを演習する	
授業の進め方	問題演習と解説に加え、必要に応じて復習講義を行い、より高度な知識定着を図る	
達成目標	マーケティングの具体的な手法を理解する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	店舗データの理解①
	2	店舗データの理解②
	3	マーケティングの流れ①
	4	マーケティングの流れ②
	5	売上構成分析①
	6	売上構成分析②
	7	来店客分析①
	8	来店客分析②
	9	商品分析①
	10	商品分析②
	11	費用分析①
	12	費用分析②
	13	課題抽出①
	14	課題抽出②
	15	アンケート調査分析①
	16	アンケート調査分析②
	17	企画作成①
	18	企画作成②
	19	企画作成③
	20	企画作成④
	21	様々なマーケティング①
	22	様々なマーケティング②
	23	プレ卒業研究①
	24	プレ卒業研究②
	25	プレ卒業研究③
	26	プレ卒業研究④
	27	プレ卒業研究⑤
	28	プレ卒業研究⑥
	29	プレ卒業研究⑦
	30	プレ卒業研究⑧
成績評価方法 (試験実施方法)	確認テスト100% 科目習熟度を測定するテスト	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	販売職ビジネスマナー			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択B			
授業方法	実習			
授業時間	90時間			
授業回数	45回			
授業概要	接客に関する実践的な学習をする			
授業の進め方	テキスト講義と実践的な演習により、「知る」から「身に付く」へステップアップを図る			
達成目標	接客に関する実践的な演習を通じて、習得する			
教科書	オリジナルテキスト・レジュメ			
特記				
授業計画	1	接客販売、営業マナーとは①	31	演習①
	2	接客販売、営業マナーとは②	32	演習②
	3	接客販売、営業マナーとは③	33	演習③
	4	接客販売の心得①	34	接遇マナーとは①
	5	接客販売の心得②	35	接遇マナーとは②
	6	接客販売の心得③	36	接遇マナーとは③
	7	お客様の心理①	37	接遇の流れ①
	8	お客様の心理②	38	接遇の流れ②
	9	お客様の心理③	39	接遇の流れ③
	10	店内接客の基本①	40	演習①
	11	店内接客の基本②	41	演習②
	12	店内接客の基本③	42	演習③
	13	演習①	43	効果測定①
	14	演習②	44	効果測定②
	15	演習③	45	効果測定③
	16	営業の心得①		
	17	営業の心得②		
	18	営業の心得③		
	19	訪問の流れ①		
	20	訪問の流れ②		
	21	訪問の流れ③		
	22	演習①		
	23	演習②		
	24	演習③		
	25	商談の進め方①		
	26	商談の進め方②		
	27	商談の進め方③		
	28	商品説明①		
	29	商品説明②		
	30	商品説明③		
成績評価方法 (試験実施方法)	効果測定100% 実技による効果測定			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	プレゼンテーション	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	企画から発表までの一連の流れ	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	プレゼンテーションに必要な要素の理解、演習	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1	プレゼンテーションとは何か
	2	プレゼンテーションの種類
	3	企画・情報収集・シナリオ作成
	4	企画・情報収集・シナリオ作成
	5	企画・情報収集・シナリオ作成
	6	企画・情報収集・シナリオ作成
	7	企画・情報収集・シナリオ作成
	8	企画・情報収集・シナリオ作成
	9	企画・情報収集・シナリオ作成
	10	企画・情報収集・シナリオ作成
	11	企画・情報収集・シナリオ作成
	12	企画・情報収集・シナリオ作成
	13	コンテンツ作成
	14	話し方
	15	発表
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業前特別講座	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	講義	
授業時間	30時間	
授業回数	15回	
授業概要	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	
授業の進め方	様々な業界の方からの講演を聞く	
達成目標	講演、講座、研修を通じて、自身の将来の姿をイメージすることができる	
教科書	レジュメ	
特記		
授業計画	1	キャリア講演会①
	2	敬語講座①
	3	ビジネスマナー研修①
	4	キャリア講演会②
	5	キャリア講演会③
	6	敬語講座②
	7	ビジネスマナー研修②
	8	キャリア講演会④
	9	キャリア講演会⑤
	10	敬語講座③
	11	ビジネスマナー研修③
	12	キャリア講演会⑥
	13	キャリア講演会⑦
	14	敬語講座④
	15	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究・発表	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択B	
授業方法	演習	
授業時間	60時間	
授業回数	30回	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	オリジナルテキスト、外販テキスト	
特記		
授業計画	1	企画作成①
	2	企画作成②
	3	企画作成③
	4	企画作成④
	5	企画作成⑤
	6	中間発表①
	7	中間発表②
	8	企画のブラッシュアップ①
	9	企画のブラッシュアップ②
	10	企画のブラッシュアップ③
	11	企画のブラッシュアップ④
	12	企画のブラッシュアップ⑤
	13	企画のブラッシュアップ⑥
	14	企画のブラッシュアップ⑦
	15	企画のブラッシュアップ⑧
	16	オンラインプレゼン方法①
	17	オンラインプレゼン方法②
	18	オンラインプレゼン方法③
	19	企画のブラッシュアップ⑨
	20	企画のブラッシュアップ⑩
	21	企画のブラッシュアップ⑪
	22	企画のブラッシュアップ⑫
	23	企画のブラッシュアップ⑬
	24	企画のブラッシュアップ⑭
	25	企画のブラッシュアップ⑮
	26	企画のブラッシュアップ⑯
	27	企画発表（校内）①
	28	企画発表（校内）②
	29	企画発表（企業向け）①
	30	企画発表（企業向け）②
成績評価方法 （試験実施方法）	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	卒業研究	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択B	
授業方法	実習	
授業時間	180時間	
授業回数	90回	
授業概要	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッションを通じ、専門的な知識と思考の定着を図る	
達成目標	マーケティングの知識を活かし、現状に即した企画案を作成する	
教科書	テキスト及び参考書	
特記		
授業計画	1～69	業界分析・情報収集・店舗分析・店舗見学・課題抽出・仮説・調査・検証・企画案作成
	70～74	中間発表
	75～79	再検証
	80～84	最終発表
	85～90	代表によるコンテストの実施
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、実践スキルの習熟状況	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	物権法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	物権法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	物権法概論
	2	物権の効力・物権的請求権
	3	物権変動①（不動産）
	4	物権変動②（動産）
	5	所有権・占有権
	6	用益物権
	7	担保物権①（抵当権）
	8	担保物権②（先取特権、質権、根抵当権、非典型担保）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	親族・相続法 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	親族・相続法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	家族法概論
	2	夫婦関係①（婚姻）
	3	夫婦関係②（離婚）
	4	親子関係
	5	後見・保佐・補助、扶養
	6	相続①（相続人・相続の効力）
	7	相続②（相続の承認・放棄、財産分離、相続人不存在）
	8	相続③（遺言、配偶者の居住権、遺留分）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政法総論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	行政法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	行政法の基礎、基本原理
	2	行政行為
	3	行政立法、行政契約、行政計画
	4	行政指導
	5	行政調査、情報管理・公開・保護制度、行政の義務履行確保制度
	6	行政争訟①
	7	行政争訟②
	8	国家補償
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民事訴訟法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	民事訴訟法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	民事訴訟の流れ・解釈原理
	2	訴訟の主体
	3	訴えの開始
	4	訴訟の審理①
	5	訴訟の審理②
	6	訴えの終了
	7	複雑訴訟形態
	8	上訴・再審、略式訴訟手続
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	工業所有権法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	工業所有権法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	工業所有権法とは
	2	特許法 1（出願 1）
	3	特許法 2（出願 2）
	4	特許法 3（特許権の効力）
	5	特許法 4（特許権の侵害 1）
	6	特許法 5（特許権の侵害 2）・実用新案法
	7	商標法
	8	意匠法・不正競争防止法
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	裁判法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	裁判法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	裁判法とは
	2	最高裁判所の概要と任務
	3	国民の司法参加制度
	4	抗告訴訟の種類
	5	刑事訴訟・民事訴訟の流れ
	6	被疑者・被告人の権利と制度趣旨
	7	裁判官の身分保障と裁判官の解任手続
	8	犯罪の国際化と刑事手続
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法学入門	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	法学入門の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	憲法とは、統治総論
	2	国民主権、天皇
	3	選挙制度・選挙権
	4	国会
	5	内閣
	6	裁判所
	7	地方自治、戦争放棄と自衛隊
	8	人権保障の仕組み
	9	思想・良心の自由、信教の自由、政教分離
	10	表現の自由と知る権利、集会・結社の自由
	11	職業選択の自由、財産権
	12	刑事手続上の権利
	13	生存権、教育を受ける権利、勤労の権利と労働基本権
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	私法入門Ⅰ（財産法）	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	私法入門Ⅰ（財産法）の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	私法入門総論
	2	人
	3	法律行為総論
	4	意思表示
	5	代理
	6	時効
	7	物権総論
	8	担保物権
	9	債権の効力
	10	多数当事者の債権債務関係
	11	債権の消滅
	12	契約総論、契約各論
	13	不法行為
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	私法入門Ⅱ（家族法）	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	私法入門Ⅱ（家族法）の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	婚姻の成立
	2	婚姻の効果
	3	離婚の成立
	4	離婚の効果
	5	親子
	6	親権、子の保護
	7	成年後見
	8	扶養
	9	相続の意義、相続人
	10	相続分
	11	相続の承認・放棄、相続財産の範囲と遺産分割
	12	遺言、遺留分
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	私法入門Ⅲ（商法）	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	私法入門Ⅲ（商法）の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	商法の基本概念
	2	商法の特徴
	3	商法の法源
	4	商法の適用
	5	商人
	6	商行為
	7	商人資格の取得および喪失時期
	8	商法総則
	9	商行為法
	10	会社法：会社の意義、株式、機関、計算、訴訟
	11	有価証券法（手形法・小切手法）
	12	保険法
	13	海商法
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	公法入門	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	公法入門の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	裁判制度：裁判所組織と三審制
	2	憲法の最高法規性：違憲立法審査権、違憲審査基準
	3	人権総論：人権の歴史と内容、基本的人権の限界
	4	幸福追求権：自己決定権、プライバシーの権利
	5	法の下での平等：非嫡出子相続分差別事件
	6	精神的自由：思想・良心の自由、信教の自由
	7	表現の自由：表現の自由の優越的地位
	8	学問の自由：大学の自治と学問研究の自由
	9	人身の自由：刑事被告人、被疑者の権利
	10	生存権：生存権の法的性格と生活保護受給権
	11	労働基本権：公務員の労働基本権
	12	参政権：選挙運動規制、外国人の地方参政権
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	刑事法入門	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	刑事法の基礎知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	刑事法とは
	2	刑法総論 1 刑法の諸原則・構成要件
	3	刑法総論 2 違法性・責任
	4	刑法各論 1 個人的法益に対する罪
	5	刑法各論 2 社会的法益に対する罪・国家的法益に対する罪
	6	刑事訴訟法 1 捜査
	7	刑事訴訟法 2 公訴
	8	刑事訴訟法 3 公判
	9	刑事訴訟法 4 証拠
	10	刑事学 1 我が国の犯罪状況
	11	刑事学 2 犯罪者
	12	刑事学 3 被害者
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	政治学入門	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	政治学の基礎知識や考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	政治学の基礎概念 1
	2	政治学の基礎概念 2
	3	現代社会と政治 1
	4	現代社会と政治 2
	5	政治過程論 1
	6	政治過程論 2
	7	政治過程論 3
	8	政治制度論 1
	9	政治制度論 2
	10	政治思想と政治理論 1
	11	政治思想と政治理論 2
	12	政治思想と政治理論 3
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	国際法入門	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	国際法の基礎知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	国際法とは
	2	国際公法 1 条約
	3	国際公法 2 国家
	4	国際公法 3 国家責任
	5	国際公法 4 国際法と個人
	6	国際公法 5 国際紛争
	7	国際司法 1 総論
	8	国際司法 2 各論 1
	9	国際司法 3 各論 2
	10	国際司法 4 国際民事手続法
	11	国際連合
	12	国際人権法
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	外国人の地方参政権
	2	私人間効力
	3	自己決定権
	4	法定相続分差別
	5	夫婦同氏制
	6	職務命令と思想・良心の自由
	7	政教分離
	8	少年事件の推知報道
	9	プライバシーと表現の自由
	10	生命科学研究の自由と倫理
	11	適正配置規制
	12	免許制・資格制
	13	予防接種禍と国家補償
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	失踪宣告の取消しと現存利益
	2	成年後見制度
	3	民法94条2項類推適用
	4	他人物売買と無権代理
	5	無効と取消し
	6	取得時効と登記
	7	背信的悪意者排除論
	8	相続と新権原
	9	抵当権に基づく抵当不動産の明渡請求
	10	譲渡担保
	11	代理受領
	12	債務不履行の態様
	13	不動産賃借権
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済社会学特講 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	経済学・社会学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	日本の経済・財政事情 1
	2	日本の経済・財政事情 2
	3	日本の経済・財政事情 3
	4	GNPの決定
	5	需要と供給 1
	6	需要と供給 2
	7	経済成長
	8	国際経済 1
	9	国際経済 2
	10	租税・公債 1
	11	租税・公債 2
	12	経済と物価
	13	財政・金融政策
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	中国語基礎	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	1年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	中国語の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	中国語言語学分野の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	発音①（声調・短母音）
	2	発音②（子音・複母音・鼻母音・声調変化）
	3	自己紹介をする
	4	電話を掛ける
	5	約束・予定を決める
	6	カフェ・レストランで注文をする
	7	道案内をする
	8	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	中国語読解	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	中国語の応用知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	中国語言語学分野の応用知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	発音①（声調・短母音）
	2	発音②（子音・複母音）
	3	発音③（鼻母音・声調変化）
	4	発音④（まとめ）
	5	自己紹介をする
	6	電話を掛ける
	7	約束・予定を決める
	8	カフェ・レストランで注文をする
	9	道案内をする
	10	観光地・名産品を紹介する
	11	ショッピングをする
	12	相手を褒める
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英語読解	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	英語読解の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	英語読解の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	英文読解（日本昔話）
	2	英文読解（アメリカの歴史）
	3	英文読解（小説）
	4	英文読解（日本人とアメリカ人の違い）
	5	英文読解（日本人論）
	6	英文読解（著名人）
	7	英文読解（アメリカの文化・生活習慣）
	8	英文読解（日本経済）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英語総合	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	基礎的な文法・語彙を取得し、発信型の英語力を養成する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	語彙・文法力・読解力・聴解力といった総合的英語力の伸長。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	イントロダクション
	2	発音ルール 1 と日常会話表現 1
	3	発音ルール 2 と日常会話表現 2
	4	発音ルール 3 と日常会話表現 3
	5	発音ルール 4 と日常会話表現 4
	6	発音ルール 5 と日常会話表現 5
	7	発音ルール 6 と日常会話表現 6
	8	英語の歌
	9	英語のドラマ
	10	有名人のスピーチ 1
	11	有名人のスピーチ 2
	12	有名人のスピーチ 3
	13	英語で自己紹介
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	物権法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	3 8 時間	
授業回数	1 9 回	
授業概要	物権法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	物権法の問題演習につき、6割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	親族・相続法演習			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	1年次			
開講区分	後期			
科目区分	選択C			
授業方法	演習			
授業時間	70時間			
授業回数	35回			
授業概要	親族・相続法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	親族・相続法の問題演習につき、6割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	問題演習（1）	31	問題演習（16）
	2	問題演習（1）解説	32	問題演習（16）解説
	3	問題演習（2）	33	問題演習（17）
	4	問題演習（2）解説	34	問題演習（17）解説
	5	問題演習（3）	35	まとめ
	6	問題演習（3）解説		
	7	問題演習（4）		
	8	問題演習（4）解説		
	9	問題演習（5）		
	10	問題演習（5）解説		
	11	問題演習（6）		
	12	問題演習（6）解説		
	13	問題演習（7）		
	14	問題演習（7）解説		
	15	問題演習（8）		
	16	問題演習（8）解説		
	17	問題演習（9）		
	18	問題演習（9）解説		
	19	問題演習（10）		
	20	問題演習（10）解説		
	21	問題演習（11）		
	22	問題演習（11）解説		
	23	問題演習（12）		
	24	問題演習（12）解説		
	25	問題演習（13）		
	26	問題演習（13）解説		
	27	問題演習（14）		
	28	問題演習（14）解説		
	29	問題演習（15）		
	30	問題演習（15）解説		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	行政法総論演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	4 8 時間	
授業回数	2 4 回	
授業概要	行政法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	行政法の問題演習につき、6割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	民事訴訟法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	5 4 時間	
授業回数	2 7 回	
授業概要	民事訴訟法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	民事訴訟法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
	25	問題演習（13）
	26	問題演習（13）解説
	27	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	工業所有権法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	4 8 時間	
授業回数	2 4 回	
授業概要	工業所有権法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	工業所有権法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	裁判法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	3 4 時間	
授業回数	1 7 回	
授業概要	裁判法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	裁判法の問題演習につき、6割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	中国語基礎演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	3 8 時間	
授業回数	1 9 回	
授業概要	中国語の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	中国語の問題演習につき、6割の正答率を目指す。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	英語読解演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	1 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	3 8 時間	
授業回数	1 9 回	
授業概要	英語読解の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	英語読解の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	債権法総論 I	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	債権法総論の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	債権の目的
	2	債権の効力（1）
	3	債権の効力（2）
	4	多数当事者の債権及び債務
	5	債権の譲渡
	6	債務の引受け
	7	債権の消滅（1）
	8	債権の消滅（2）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	債権法総論Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	債権法総論の応用知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の応用知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	債権の目的
	2	債務不履行責任
	3	債権者代位権
	4	詐害行為取消権
	5	連帯債権・連帯債務
	6	保証債務
	7	債権の譲渡
	8	債務の引受け
	9	弁済（1）
	10	弁済（2）
	11	相殺
	12	更改・免除・混同
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	債権法各論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	債権法各論の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	債権法の構造、債権各論とは
	2	契約法序説
	3	契約の成立
	4	契約の効力（1）
	5	契約の効力（2）
	6	契約の効力（3）
	7	売買（1）
	8	売買（2）
	9	賃貸借（1）
	10	賃貸借（2）
	11	賃貸借（3）
	12	不法行為（1）
	13	不法行為（2）
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	親族・相続法Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	親族・相続法の応用知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の応用知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	親族法総論
	2	夫婦関係①（婚姻）
	3	夫婦関係②（離婚）
	4	親子関係①（実親子関係）
	5	親子関係②（養親子関係）
	6	後見・保佐・補助、扶養
	7	相続法総論
	8	相続人
	9	相続の効力
	10	相続の承認・放棄、財産分離、相続人不存在
	11	遺言・遺産分割
	12	配偶者の居住権、遺留分
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	不動産登記法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	不動産登記法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	不動産登記法の意義
	2	表示に関する登記と権利に関する登記
	3	登記はいかなる場合に必要か
	4	登記をすれば、どのような効力を生ずるか
	5	不動産賃借権と対抗要件
	6	物権変動と登記が特に問題となる場面（1）
	7	物権変動と登記が特に問題となる場面（2）
	8	登記と公信力
	9	登記が効力をもつための要件
	10	登記はどのように行われるか
	11	相続による登記
	12	仮登記
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	刑法各論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	刑法各論の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	刑法各論の概論
	2	犯罪論の基本原則と犯罪論体系
	3	刑法における人・社会・国家
	4	個人的法益に対する罪（1）殺人罪
	5	個人的法益に対する罪（2）傷害罪
	6	個人的法益に対する罪（3）逮捕監禁罪・住居侵入罪
	7	個人的法益に対する罪（4）財産罪総論
	8	個人的法益に対する罪（5）財産罪①窃盗・強盗
	9	個人的法益に対する罪（6）財産罪②詐欺・恐喝・横領
	10	社会的法益に対する罪（1）放火罪
	11	社会的法益に対する罪（2）わいせつの罪
	12	社会的法益に対する罪（3）偽造罪
	13	国家的法益に対する罪
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	著作権法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	著作権法の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	通則
	2	著作物
	3	著作者
	4	著作財産権
	5	著作者人格権
	6	著作権の制限
	7	著作隣接権
	8	著作権の侵害
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	会社法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	会社法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	会社法総論
	2	会社の設立・解散
	3	株式
	4	会社の機関①
	5	会社の機関②
	6	資金調達・計算
	7	組織再編①
	8	組織再編②、組織変更、持分会社、特例有限会社
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会保障法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	社会保障法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	社会保障法総論
	2	公的医療保険①
	3	公的医療保険②
	4	介護保険
	5	年金保険①
	6	年金保険②
	7	年金保険③
	8	労災保険①
	9	労災保険②
	10	雇用保険①
	11	雇用保険②
	12	雇用保険③
	13	社会保障法まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	消費者保護法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	消費者保護法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	消費者保護法総論
	2	消費者契約法総論
	3	誤認による取消し
	4	困惑による取消し
	5	不当条項規制
	6	団体訴訟制度
	7	消費者裁判手続特例法
	8	訪問販売
	9	電話勧誘販売、通信販売、業務提供誘因販売取引
	10	連鎖販売取引、特定継続的役務提供、訪問購入
	11	預金者保護法
	12	利息法制
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	地方自治法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	地方自治法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	地方自治法総論
	2	地方公共団体の構成要素
	3	地方公共団体（1）：地方公共団体の意義、普通地方公共団体①
	4	地方公共団体（2）：普通地方公共団体②
	5	地方公共団体（3）：特別地方公共団体
	6	地方公共団体の事務（1）：機関委任事務制度の廃止
	7	地方公共団体の事務（2）：自治事務と法定受託事務
	8	条例（1）：条例制定権と条例制定手続
	9	条例（2）：憲法・法律と条例の関係
	10	地方公共団体の財務
	11	地方自治と住民（1）：選挙、住民投票、直接請求
	12	地方自治と住民（2）：住民監査請求、住民訴訟
	13	長と議会の関係
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	労働法	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	労働法の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	労働法総論
	2	労働契約と労働条件
	3	就業規則と企業秩序
	4	労働時間、休憩、休日、休暇
	5	賃金
	6	解雇、退職、雇止め
	7	非正規雇用
	8	母性保護と均等待遇
	9	ハラスメント
	10	労働者の安全衛生
	11	労働災害と労働補償
	12	労働組合の役割
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講Ⅲ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	GPS捜査
	2	接見指定
	3	国家賠償責任の免除・制限
	4	生存権の法的性格
	5	教育を受ける権利と教育権
	6	公務員の労働基本権
	7	在外日本国民の選挙権
	8	議員定数不均衡
	9	選挙制度
	10	集団的自衛権
	11	裁判員制度
	12	国民健康保険と租税法律主義
	13	自治体の課税権
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法社会学	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	法社会学の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の基礎知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	法社会学とは
	2	法の概念
	3	民事司法過程
	4	刑事司法過程
	5	行政過程
	6	法社会学の理論 1
	7	法社会学の理論 2
	8	法社会学の最前線
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本法制史	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	16時間	
授業回数	8回	
授業概要	日本法制史の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	人文科学分野の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	西洋法の継受
	2	民法典論争
	3	明治期の地方制度
	4	近代的な土地所有権
	5	大正期の調停制度
	6	工場法の内容と意義
	7	国家総動員法の内容と意義
	8	日本国憲法の基本理念と定められた経緯
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	財政学総論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	財政学の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	イントロダクション
	2	財政制度
	3	日本の財政事情 1
	4	日本の財政事情 2
	5	租税 1
	6	租税 2
	7	租税 3
	8	公債 1
	9	公債 2
	10	地方財政
	11	日本財政史
	12	財政事情の国際比較
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	社会政策	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	社会政策の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の応用知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	社会政策とは
	2	労働経済 1 歴史
	3	労働経済 2 雇用・失業
	4	労働経済 3 賃金・労働時間
	5	労働経済 4 労使関係・労災
	6	労働経済 5 労働事情 1
	7	労働経済 6 労働事情 2
	8	社会保障 1 歴史
	9	社会保障 2 医療保険
	10	社会保障 3 年金保険
	11	社会保障 4 介護保険
	12	社会保障 5 労働保険
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済原論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	2 6 時間	
授業回数	1 3 回	
授業概要	マクロ経済学の知識と考え方を習得する。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	マクロ経済の測定
	2	短期 1 経済規模
	3	短期 2 貨幣と利子率
	4	短期 3 政策効果
	5	短期 4 国際マクロ経済 1
	6	短期 5 国際マクロ経済 2
	7	長期 1 消費
	8	長期 2 貯蓄・投資
	9	長期 3 経済成長
	10	長期 4 物価と失業率
	11	長期 5 物価と資産
	12	マクロ経済政策
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	西洋政治史	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	1 6 時間	
授業回数	8 回	
授業概要	西洋政治史の基礎知識をインプットする。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	人文科学分野の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	普仏戦争の経緯
	2	第一次世界大戦後のドイツの賠償問題
	3	イタリアにおけるファシズムの台頭
	4	ボストン茶会事件
	5	ロシアの東進政策
	6	ウェストファリア条約
	7	第一次ロシア革命
	8	ドイツの東西分裂
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、レポートの完成度	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	キャリアマネジメント	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	キャリア理論の基礎知識を習得する。	
授業の進め方	各種資料による講義とディスカッション	
達成目標	キャリア理論の基礎知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	キャリアとキャリアマネジメント
	2	なぜキャリアマネジメントが求められるのか
	3	グループワーク①（自分を知る）
	4	自身の未知の可能性を探る
	5	自己理解を促進するコミュニケーションとは何か
	6	キャリア理論①（スーパーの理論、ホルンドの理論等）
	7	キャリア理論②（イバーラの理論、シャインの理論等）
	8	グループワーク②（キャリア理論を確認する）
	9	各世代のキャリア開発について考察する
	10	ダイバーシティとワークライフバランスについて考察する
	11	カウンセリング・コーチング・ティーチングの基礎理論を学ぶ
	12	グループワーク③（これからのキャリアマネジメント）
	13	まとめ
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容			
授業科目	債権法総論演習			
実務家教員				
学部・学科	法律行政学科 2年制			
履修年次	2年次			
開講区分	前期			
科目区分	選択C			
授業方法	演習			
授業時間	66時間			
授業回数	33回			
授業概要	債権法総論の知識をアウトプットし知識の定着を図る。			
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。			
達成目標	債権法総論の問題演習につき、6割の正答率を目指す。			
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書			
特記				
授業計画	1	問題演習（1）	31	問題演習（16）
	2	問題演習（1）解説	32	問題演習（16）解説
	3	問題演習（2）	33	まとめ
	4	問題演習（2）解説		
	5	問題演習（3）		
	6	問題演習（3）解説		
	7	問題演習（4）		
	8	問題演習（4）解説		
	9	問題演習（5）		
	10	問題演習（5）解説		
	11	問題演習（6）		
	12	問題演習（6）解説		
	13	問題演習（7）		
	14	問題演習（7）解説		
	15	問題演習（8）		
	16	問題演習（8）解説		
	17	問題演習（9）		
	18	問題演習（9）解説		
	19	問題演習（10）		
	20	問題演習（10）解説		
	21	問題演習（11）		
	22	問題演習（11）解説		
	23	問題演習（12）		
	24	問題演習（12）解説		
	25	問題演習（13）		
	26	問題演習（13）解説		
	27	問題演習（14）		
	28	問題演習（14）解説		
	29	問題演習（15）		
	30	問題演習（15）解説		
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価			
備考				

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法社会学演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	5 2 時間	
授業回数	2 6 回	
授業概要	法社会学の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	法社会学の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
	25	問題演習（13）
	26	問題演習（13）解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	日本法制史演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	前期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	4 8 時間	
授業回数	2 4 回	
授業概要	日本法制史の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	日本法制史の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	著作権法演習	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	4 8 時間	
授業回数	2 4 回	
授業概要	著作権法の知識をアウトプットし知識の定着を図る。	
授業の進め方	問題演習と解説を中心に、必要に応じて復習講義を行う。	
達成目標	著作権法の問題演習につき、6 割の正答率を目指す。	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	問題演習（1）
	2	問題演習（1）解説
	3	問題演習（2）
	4	問題演習（2）解説
	5	問題演習（3）
	6	問題演習（3）解説
	7	問題演習（4）
	8	問題演習（4）解説
	9	問題演習（5）
	10	問題演習（5）解説
	11	問題演習（6）
	12	問題演習（6）解説
	13	問題演習（7）
	14	問題演習（7）解説
	15	問題演習（8）
	16	問題演習（8）解説
	17	問題演習（9）
	18	問題演習（9）解説
	19	問題演習（10）
	20	問題演習（10）解説
	21	問題演習（11）
	22	問題演習（11）解説
	23	問題演習（12）
	24	問題演習（12）解説
成績評価方法 (試験実施方法)	模擬試験100% 模擬試験における科目別得点で評価	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	ビジネス法務理論	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2 年制	
履修年次	2 年次	
開講区分	後期	
科目区分	選択C	
授業方法	演習	
授業時間	3 5 時間	
授業回数	1 8 回	
授業概要	ビジネス法務関連知識を習得する	
授業の進め方	グループワークなどを通じ、実践的知識の習得	
達成目標	実践的なビジネス法務の知識の定着	
教科書	なし	
特記		
授業計画	1	ビジネス法務に関する講義（1）
	2	個人研究①
	3	個人研究②
	4	グループ研究①
	5	グループ研究②
	6	グループ研究③
	7	グループ討論①
	8	グループ討論②
	9	振り返り
	10	ビジネス法務に関する講義（2）
	11	個人研究①
	12	個人研究②
	13	グループ研究①
	14	グループ研究②
	15	グループ研究③
	16	グループ討論①
	17	グループ討論②
	18	振り返り
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	法律学特講Ⅳ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	法律学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	六法・レジュメ・授業担当者指定の法律書	
特記		
授業計画	1	家事事件手続法
	2	同性パートナーシップと同性婚
	3	再婚禁止期間
	4	選択的夫婦別姓
	5	有責配偶者からの離婚請求
	6	離婚時の年金分割
	7	財産分与の対象
	8	面会交流の強制
	9	嫡出推定制度
	10	生殖補助医療
	11	特別養子縁組
	12	成年後見制度
	13	特別縁故者の範囲
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		

授業概要（シラバス）

タイトル	内容	
授業科目	経済社会学特講Ⅱ	
実務家教員		
学部・学科	法律行政学科 2年制	
履修年次	2年次	
開講区分	通年	
科目区分	選択C	
授業方法	講義	
授業時間	26時間	
授業回数	13回	
授業概要	経済学・社会学に関する現代的課題の理解を深める。	
授業の進め方	テキストによる講義と一部基礎的な問題演習	
達成目標	社会科学分野の知識の定着	
教科書	レジュメ・授業担当者指定のテキスト	
特記		
授業計画	1	日本経済と労働事情 1
	2	日本経済と労働事情 2
	3	雇用関係（雇用・失業）
	4	雇用関係（賃金・労働時間）
	5	社会保険制度 1
	6	社会保険制度 2
	7	財政制度と社会保険 1
	8	財政制度と社会保険 2
	9	社会政策の国際的統一化
	10	国際労働基準 1
	11	国際労働基準 2
	12	国際労働条約の経済効果
	13	社会政策の本質
成績評価方法 (試験実施方法)	平常点100% 授業への参加姿勢、授業内課題への取り組み姿勢	
備考		